

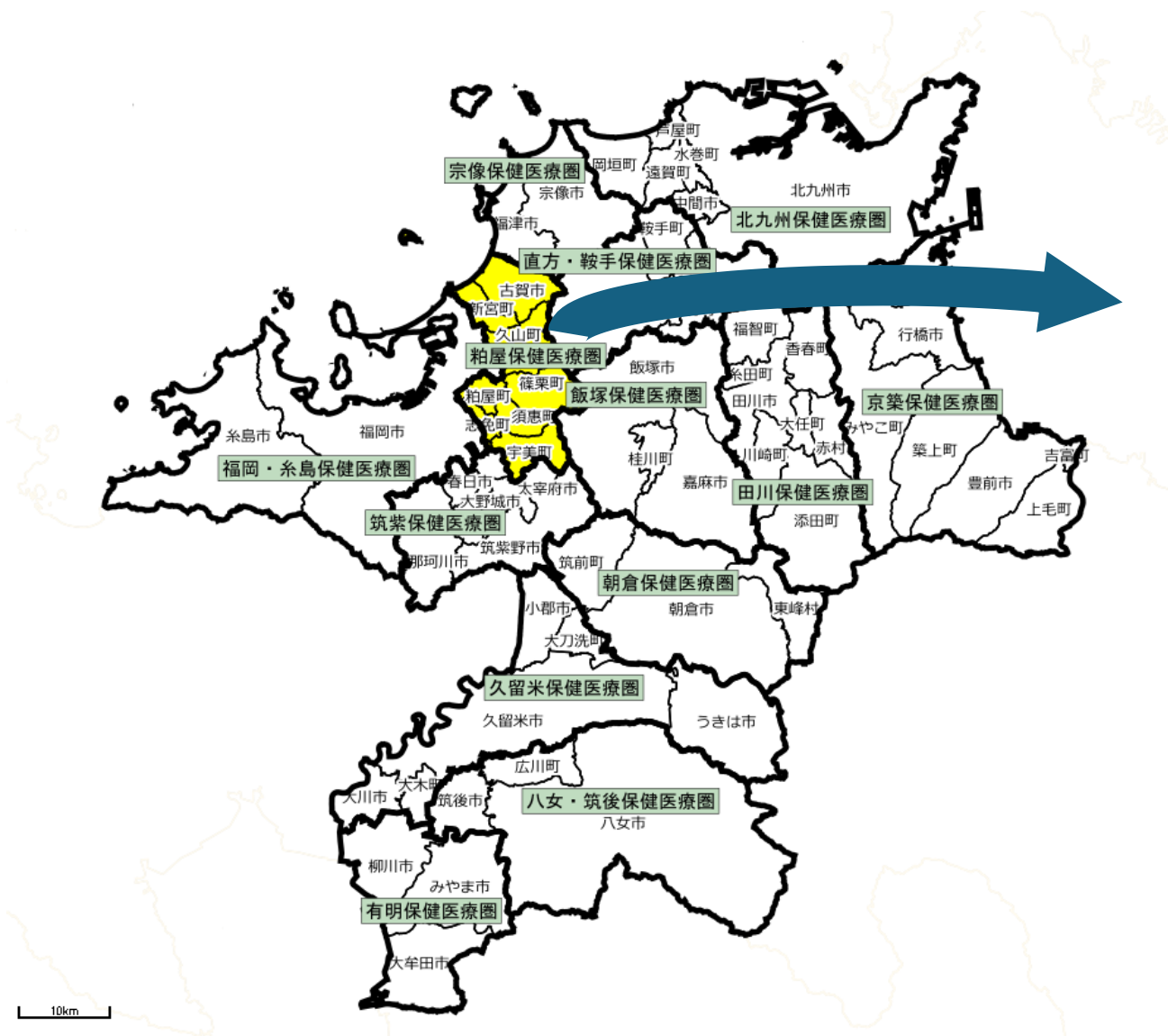
地区診断

—粕屋区域—

目次

1	概要	3
2	人口の状況	4
3	出生率の状況	9
4	死亡率の状況	10
5	将来推計人口の推移	11
6	市町別将来推計人口の推移	15
7	SCRの状況	17
8	患者推計	22
9	医療従事者数〔医師〕	24
10	医療従事者数〔医師・診療科〕	26
11	医療従事者数〔常勤医師〕	28
12	医療介護資源の状況	32
13	医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕	34
14	在宅医療の状況	39
15	看護職員の状況	44
16	二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表	46
17	二次救急及び急患センターの位置（隣接区域含む）	47
18	人口メッシュ（500m）	48
19	救急搬送の状況	49
20	救急医療電話相談利用件数	54
21	MDC別割合	55

1. 概要



構成市町村:1市7町

(古賀市、宇美町、篠栗町、志免町、須恵町、新宮町、久山町、粕屋町)

面積:206.71km²

人口:292,856人(令和2年国勢調査)

[うち年少人口(0~14):47,561人(16.2%)]

[うち生産年齢人口(15~64):172,774人(59%)]

[うち老年人口(65~):70,530人(24.1%)]

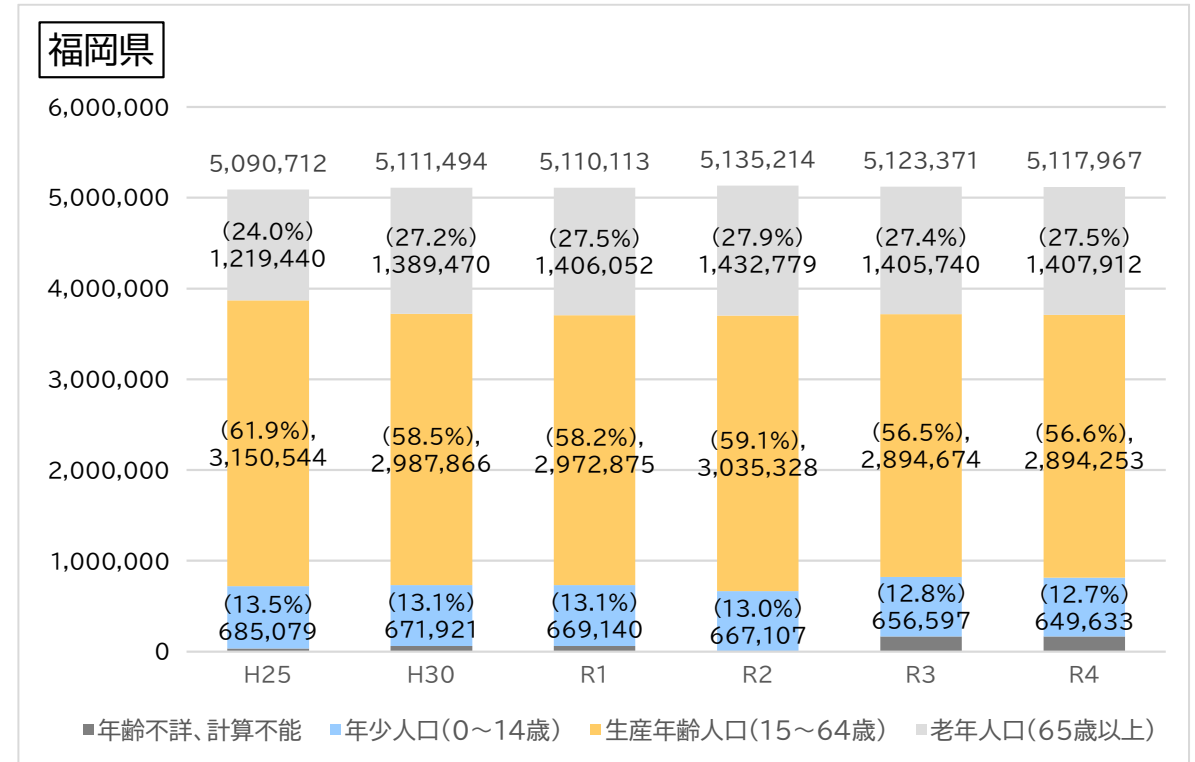
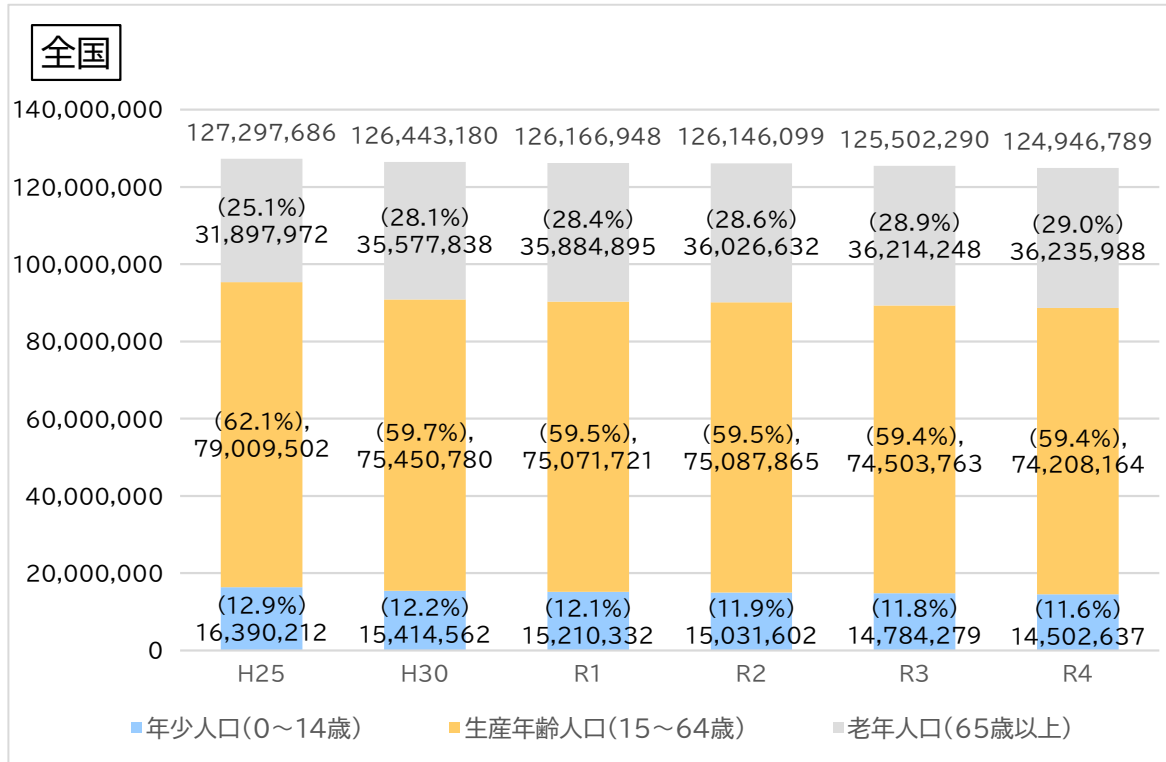
出生数:2,457人(令和4年福岡県保健統計年報)

(人口千対:8.5)※ 県平均7.1

死亡数:2,849人(令和4年福岡県保健統計年報)

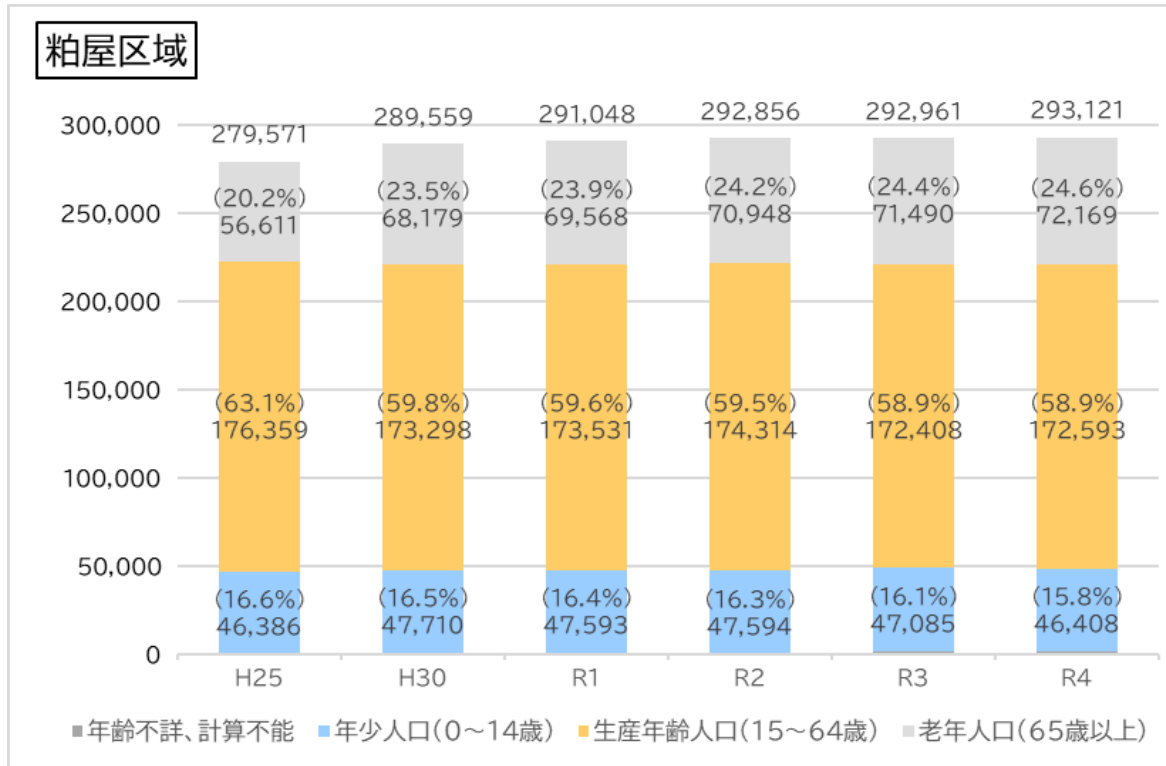
(人口千対:9.9)※ 県平均12.2

2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口について、全国は減少傾向であり、福岡県は令和2年をピークに減少していく見込み
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、全国、福岡県ともに、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、H25年からR4年までで、全国で3.9ポイント増加し、福岡県では、3.5ポイント増加している

2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口については、増加傾向
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、老年人口、生産年齢人口の割合は、R2年度以降、概ね横ばいで推移し、年少人口は、減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、H25年度からR4年度までで、4.4ポイント増加している

・各市町の状況を見ると(スライド6参照)、老年人口の割合は新宮町、粕屋町で20%未満で推移しているのに対し、他市町では25%台後半から30%近くに達している

新宮町、粕屋町は生産年齢人口の割合が6割を超えており、極めて高いのが特徴である

2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)

●粕屋区域の各市町の状況

	H25				H30				R1				R2				R3				R4			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数
古賀市	8,520 (14.6%)	36,877 (63.4%)	12,719 (21.9%)	58,174	8,323 (14.2%)	34,603 (59.0%)	15,625 (26.6%)	58,786	8,389 (14.2%)	34,626 (58.6%)	15,989 (27.0%)	59,111	8,364 (14.2%)	34,158 (58.1%)	16,264 (27.7%)	58,786	8,340 (14.2%)	33,638 (57.3%)	16,553 (28.2%)	58,657	8,237 (14.1%)	33,300 (57.0%)	16,783 (28.7%)	58,438
宇美町	5,674 (14.8%)	24,755 (64.4%)	8,028 (20.9%)	38,451	5,398 (14.3%)	22,360 (59.4%)	9,894 (26.3%)	37,671	5,403 (14.4%)	22,008 (58.5%)	10,201 (27.1%)	37,609	5,332 (14.2%)	21,914 (58.2%)	10,425 (27.7%)	37,671	5,291 (14.1%)	21,600 (57.4%)	10,615 (28.2%)	37,647	5,214 (13.9%)	21,396 (57.0%)	10,795 (28.8%)	37,542
篠栗町	5,035 (16.2%)	19,396 (62.2%)	6,755 (21.7%)	31,162	4,793 (15.4%)	18,425 (59.4%)	7,793 (25.1%)	31,209	4,694 (15.2%)	18,282 (59.2%)	7,882 (25.5%)	30,886	4,654 (14.9%)	18,550 (59.4%)	8,005 (25.6%)	31,209	4,556 (14.7%)	18,361 (59.2%)	8,031 (25.9%)	31,036	4,437 (14.4%)	18,175 (59.2%)	8,020 (26.1%)	30,720
志免町	7,820 (17.3%)	28,321 (62.6%)	9,076 (20.1%)	45,219	7,540 (16.5%)	27,334 (59.8%)	10,756 (23.5%)	46,377	7,479 (16.3%)	27,485 (59.9%)	10,908 (23.8%)	45,918	7,490 (16.2%)	27,710 (59.7%)	11,177 (24.1%)	46,377	7,386 (15.9%)	27,245 (58.8%)	11,138 (24.1%)	46,308	7,287 (15.7%)	27,406 (59.0%)	11,192 (24.1%)	46,421
須恵町	4,311 (16.0%)	16,089 (59.8%)	6,496 (24.2%)	26,885	4,621 (16.4%)	15,718 (55.9%)	7,710 (27.4%)	28,628	4,750 (16.7%)	15,706 (55.3%)	7,858 (27.7%)	28,377	4,778 (16.7%)	15,931 (55.6%)	7,919 (27.7%)	28,628	4,797 (16.7%)	15,776 (54.9%)	7,894 (27.5%)	28,719	4,805 (16.6%)	15,998 (55.2%)	7,909 (27.3%)	28,961
新宮町	5,504 (19.8%)	17,825 (64.3%)	4,411 (15.9%)	27,728	6,777 (21.0%)	19,793 (61.3%)	5,714 (17.7%)	32,927	6,781 (20.7%)	19,982 (61.1%)	5,902 (18.1%)	32,691	6,825 (20.7%)	20,055 (60.9%)	6,047 (18.4%)	32,927	6,642 (20.2%)	19,951 (60.6%)	6,155 (18.7%)	32,917	6,438 (19.6%)	19,957 (60.8%)	6,291 (19.2%)	32,850
久山町	1,320 (15.9%)	4,827 (58.1%)	2,164 (26.1%)	8,303	1,457 (16.6%)	4,925 (56.0%)	2,407 (27.4%)	9,068	1,494 (16.8%)	4,974 (55.9%)	2,429 (27.3%)	8,902	1,512 (16.7%)	5,079 (56.0%)	2,477 (27.3%)	9,068	1,560 (17.1%)	5,062 (55.3%)	2,488 (27.2%)	9,146	1,584 (17.2%)	5,115 (55.4%)	2,501 (27.1%)	9,233
粕屋町	8,202 (18.8%)	28,269 (64.8%)	6,962 (15.9%)	43,649	8,801 (18.6%)	30,140 (63.7%)	8,280 (17.5%)	48,190	8,603 (18.1%)	30,468 (64.1%)	8,399 (17.7%)	47,554	8,639 (17.9%)	30,917 (64.2%)	8,634 (17.9%)	48,190	8,513 (17.5%)	30,775 (63.4%)	8,616 (17.8%)	48,531	8,406 (17.2%)	31,246 (63.8%)	8,678 (17.7%)	48,956

※総数には年齢不詳、計算不能を含む

2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

●昼夜間人口

表1) 昼間人口・夜間人口

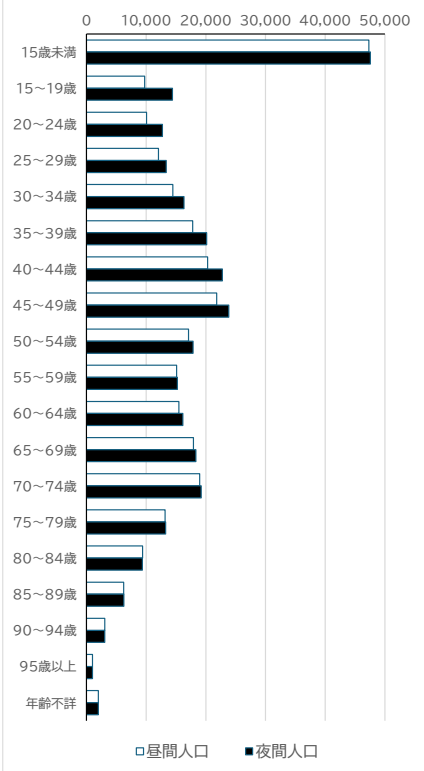
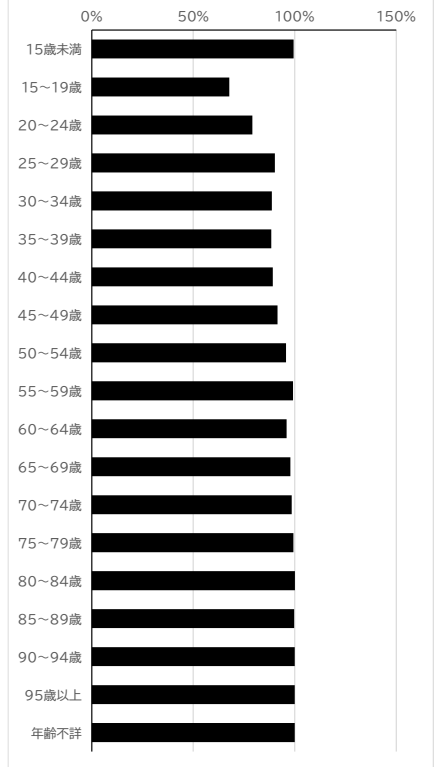


表2) 昼夜間人口比率



年齢	昼間人口		夜間人口		昼夜差		昼夜間人口比率	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	273,041	292,856	131,766	141,275	-10,202	-9,613	92.8%	93.6%
15歳未満	47,308	47,561	24,178	23,130	-87	-166	99.6%	99.3%
15~19歳	9,752	14,391	4,739	5,013	-2,503	-2,136	65.4%	70.1%
20~24歳	10,066	12,725	4,945	5,121	-1,287	-1,372	79.3%	78.9%
25~29歳	12,055	13,367	5,985	6,070	-499	-813	92.3%	88.2%
30~34歳	14,481	16,322	7,182	7,299	-881	-960	89.1%	88.4%
35~39歳	17,805	20,129	8,566	9,239	-1,443	-881	85.6%	91.3%
40~44歳	20,313	22,773	10,105	10,208	-1,212	-1,248	89.3%	89.1%
45~49歳	21,821	23,835	11,060	10,761	-1,217	-797	90.1%	93.1%
50~54歳	17,099	17,869	8,729	8,370	-332	-438	96.3%	95.0%
55~59歳	15,092	15,216	7,479	7,613	100	-224	101.4%	97.1%
60~64歳	15,495	16,147	7,501	7,994	-363	-289	95.4%	96.5%
65~69歳	17,925	18,318	8,485	9,440	-273	-120	96.9%	98.7%
70~74歳	18,956	19,236	8,883	10,073	-165	-115	98.2%	98.9%
75~79歳	13,179	13,269	5,921	7,258	-45	-45	99.2%	99.4%
80~84歳	9,389	9,378	3,805	5,584	13	-2	100.3%	100.0%
85~89歳	6,239	6,254	2,049	4,190	-10	-5	99.5%	99.9%
90~94歳	3,073	3,073	769	2,304	2	-2	100.3%	99.9%
95歳以上	1,002	1,002	123	879	0	0	100.0%	100.0%
年齢不詳	1,991	1,991	1,262	729	0	0	100.0%	100.0%

- ・昼夜間人口の差が最も大きい年代は「15-19歳」である
- ・昼夜間人口比率は「15-19歳」、「20-24歳」で80%を切っており、通学や若年層の通勤で域外に流出していると思料
- ・就業の年代(25-64)で昼夜間人口比率を見ると、男性の「35-39歳」、女性の「25-34歳」の年代層で域外への流出傾向が強いものと思料

2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

表4) 昼夜間人口比率

		計		就業者		通学者		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女
自地域内で 従業・通学 等	自地域内で、従業・通学	48,613	51,059	34,348	37,234	14,265	13,825	0	0
	従業も通学もしていない	35,328	58,506					35,328	58,506
	不詳	17,032	14,454	2,164	1,564	2,068	1,871	12,800	11,019
	計	100,973	124,019	36,512	38,798	16,333	15,696	48,128	69,525
流出	他地域に従業・通学	40,995	26,869	36,652	22,882	4,343	3,987	0	0
流入	他地域から従業・通学	30,793	17,256	29,834	15,936	959	1,320	0	0

主な流出先

【就業】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 福岡県 福岡市博多区	20,377	34.23%	1 福岡県 福岡市東区	2,918	35.03%
2 福岡県 福岡市東区	15,126	25.41%	2 福岡県 福岡市博多区	1,589	19.08%
3 福岡県 福岡市中央区	6,421	10.79%	3 福岡県 福岡市中央区	658	7.90%
4 福岡県 福津市	2,108	3.54%	4 福岡県 福岡市城南区	508	6.10%
5 福岡県 大野城市	1,681	2.82%	5 福岡県 福岡市南区	423	5.08%

【通学】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 福岡県 福岡市東区	15,220	33.25%	1 福岡県 福岡市東区	1,067	46.82%
2 福岡県 福岡市博多区	4,909	10.73%	2 福岡県 福津市	316	13.87%
3 福岡県 福津市	4,674	10.21%	3 福岡県 宗像市	303	13.30%
4 福岡県 宗像市	2,886	6.31%	4 福岡県 福岡市博多区	261	11.45%
5 福岡県 福岡市南区	2,311	5.05%	5 福岡県 大野城市	54	2.37%

主な流入元

【就業】

市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 福岡県 福岡市東区	15,220	33.25%	1 福岡県 福岡市東区	1,067	46.82%
2 福岡県 福岡市博多区	4,909	10.73%	2 福岡県 福津市	316	13.87%
3 福岡県 福津市	4,674	10.21%	3 福岡県 宗像市	303	13.30%
4 福岡県 宗像市	2,886	6.31%	4 福岡県 福岡市博多区	261	11.45%
5 福岡県 福岡市南区	2,311	5.05%	5 福岡県 大野城市	54	2.37%

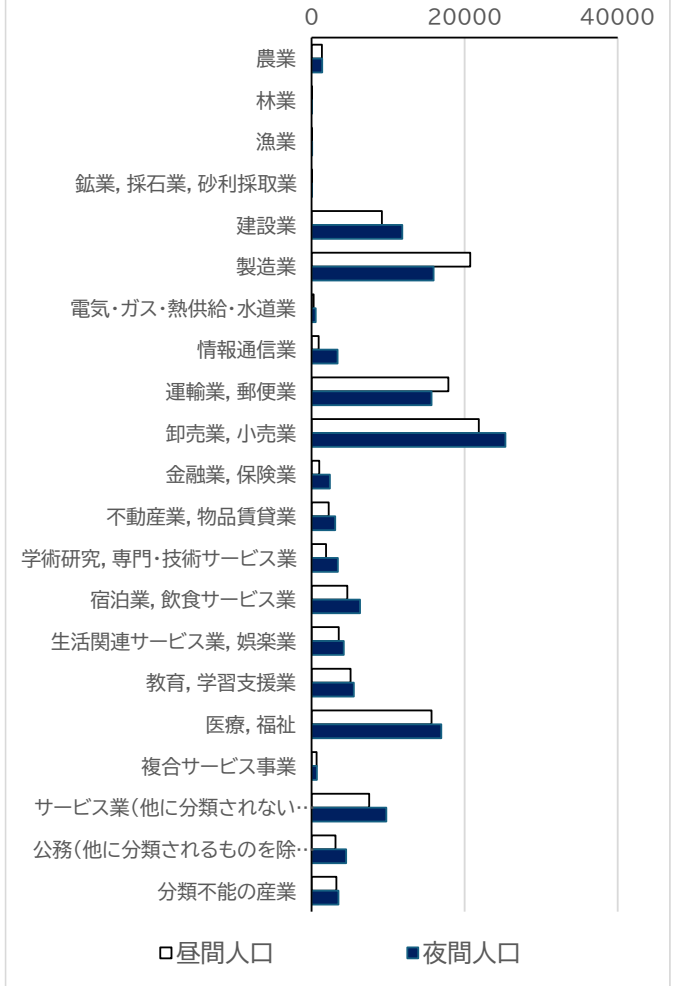
【通学】

市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 福岡県 福岡市東区	15,220	33.25%	1 福岡県 福岡市東区	1,067	46.82%
2 福岡県 福岡市博多区	4,909	10.73%	2 福岡県 福津市	316	13.87%
3 福岡県 福津市	4,674	10.21%	3 福岡県 宗像市	303	13.30%
4 福岡県 宗像市	2,886	6.31%	4 福岡県 福岡市博多区	261	11.45%
5 福岡県 福岡市南区	2,311	5.05%	5 福岡県 大野城市	54	2.37%

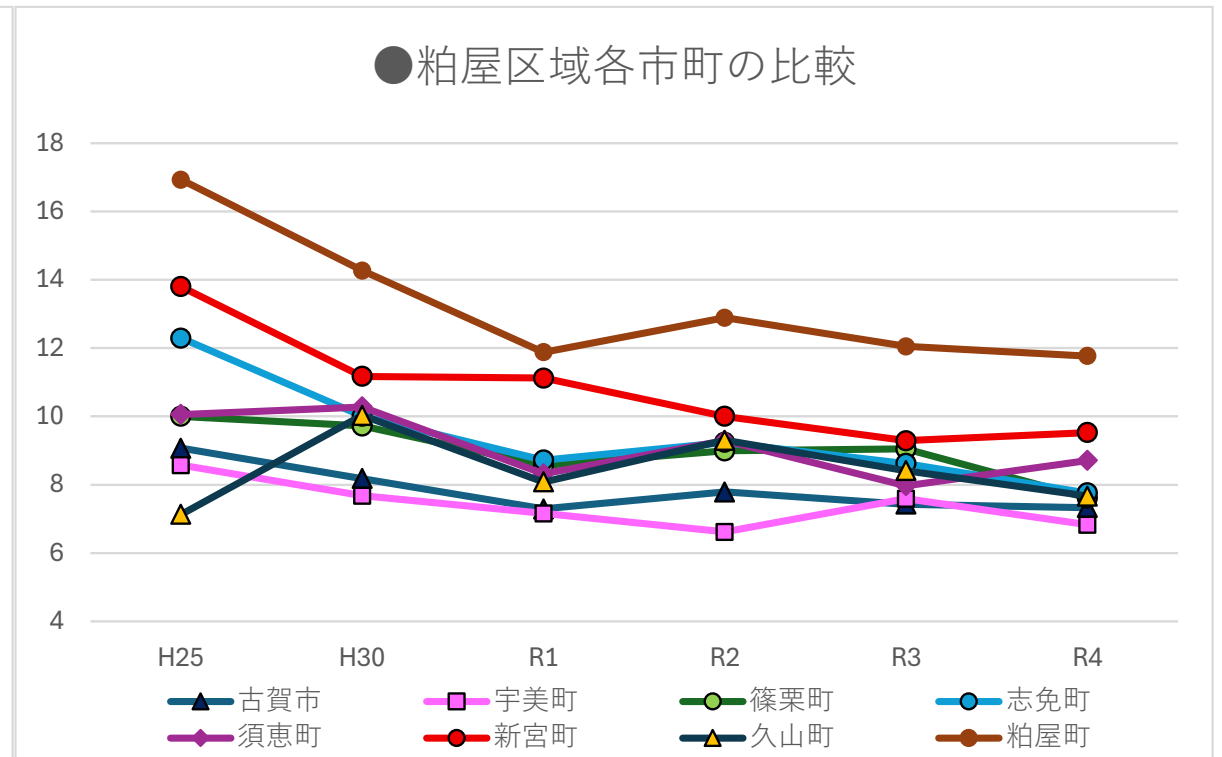
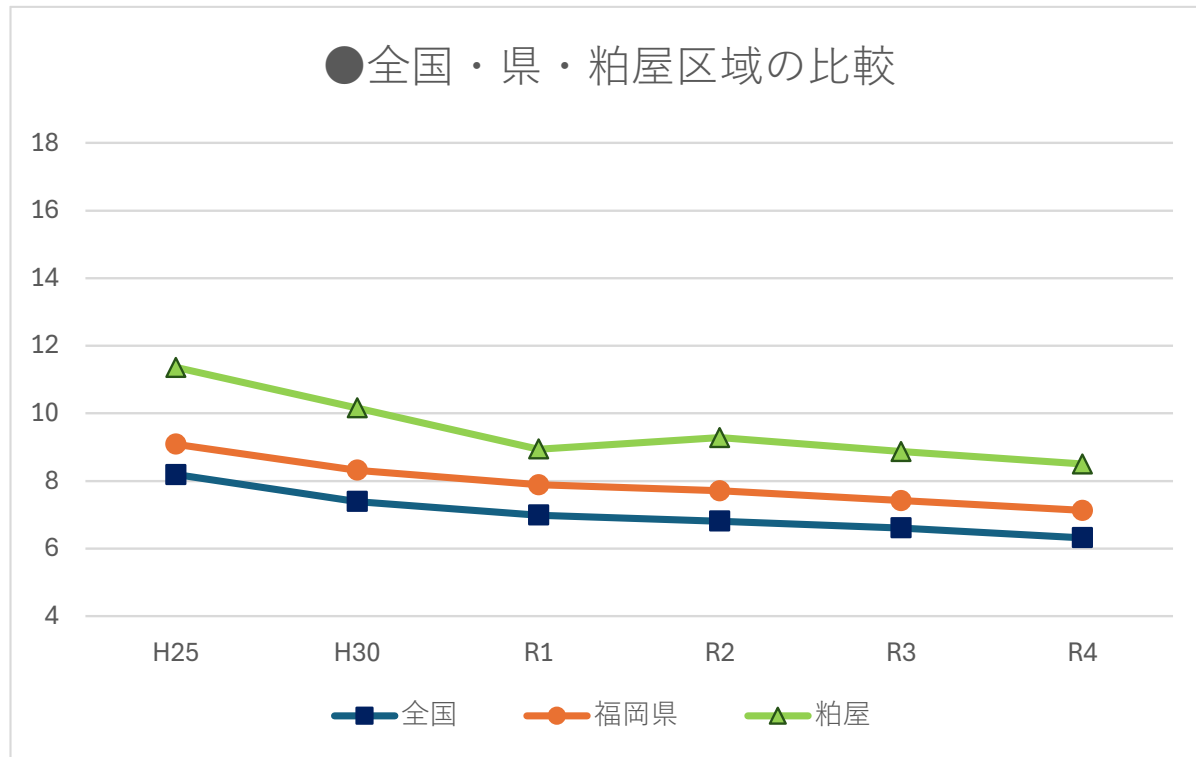
・就業者は、男女ともに流出が多い
 ・通学者も、男女ともに流出が多く、流出入の差が大きい

産業別に昼間人口を見ると、卸売業・小売業製造業が最も多く、次いで、製造業、医療・福祉となっている
 製造業は、夜間人口よりも昼間人口が多いなど、区域内の製造業に他区域から流入している状況がみられる

表5) 昼間人口・夜間人口



3. 出生率の状況 (「福岡県保健統計年報」)

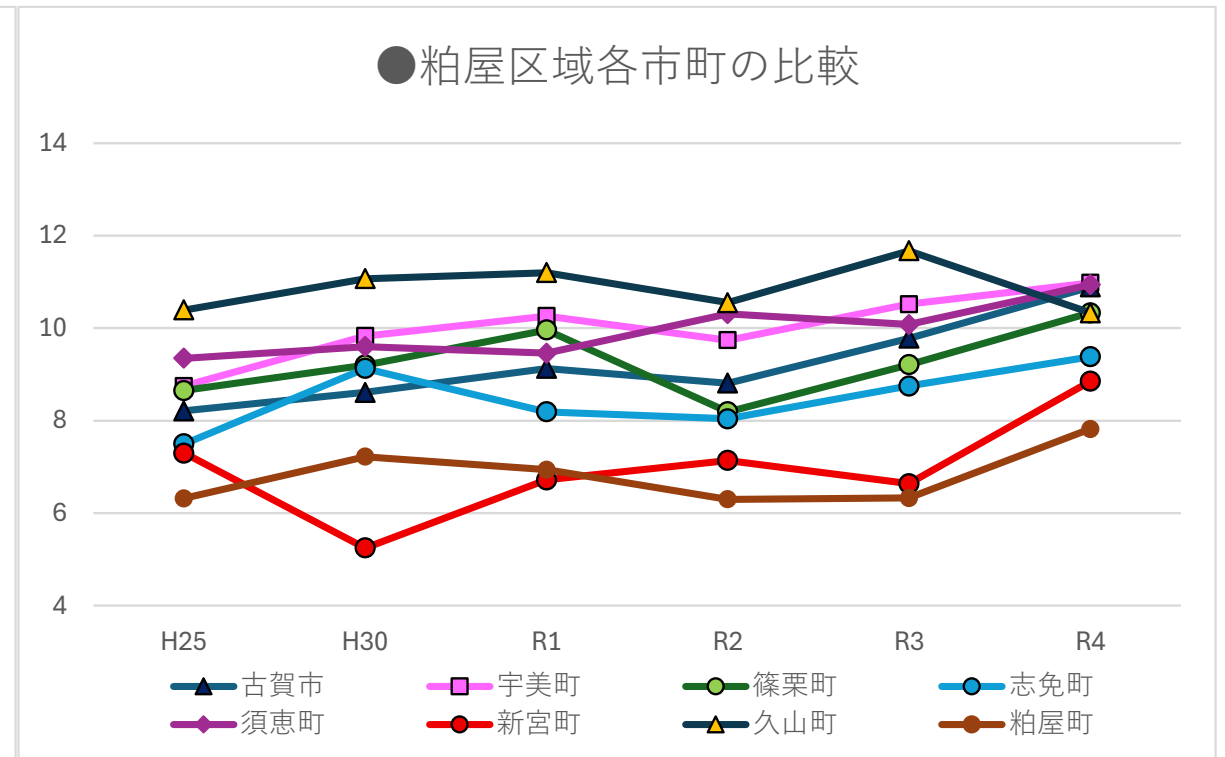
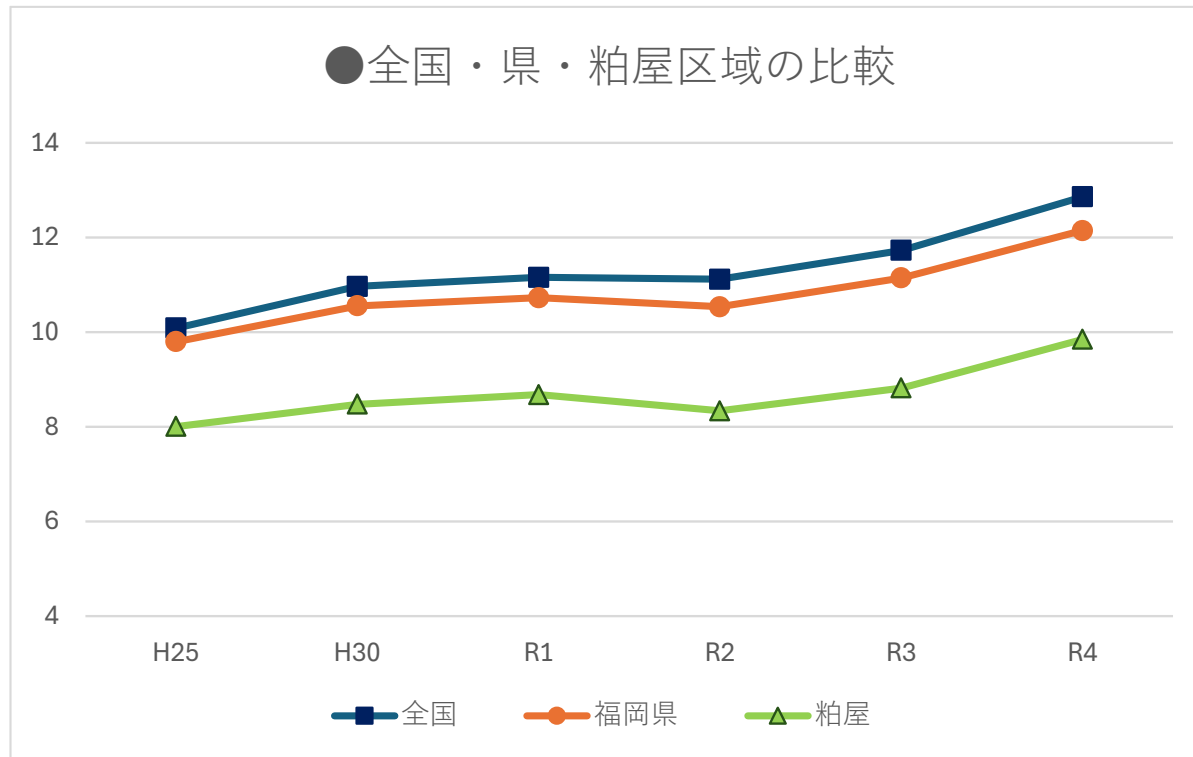


・出生率(人口千対)は、総人口、生産年齢人口の減少もあり、全国、福岡県、粕屋区域とも低下傾向であるが、粕屋区域の出生率は全国、福岡県を大きく上回っている

・市町別で見ると、年度ごとに増減はあるものの、概ね低下傾向となっている 粕屋町、久山町、古賀市はR2年度にいったん上昇に転じたが、R3年度以降は低下傾向にある

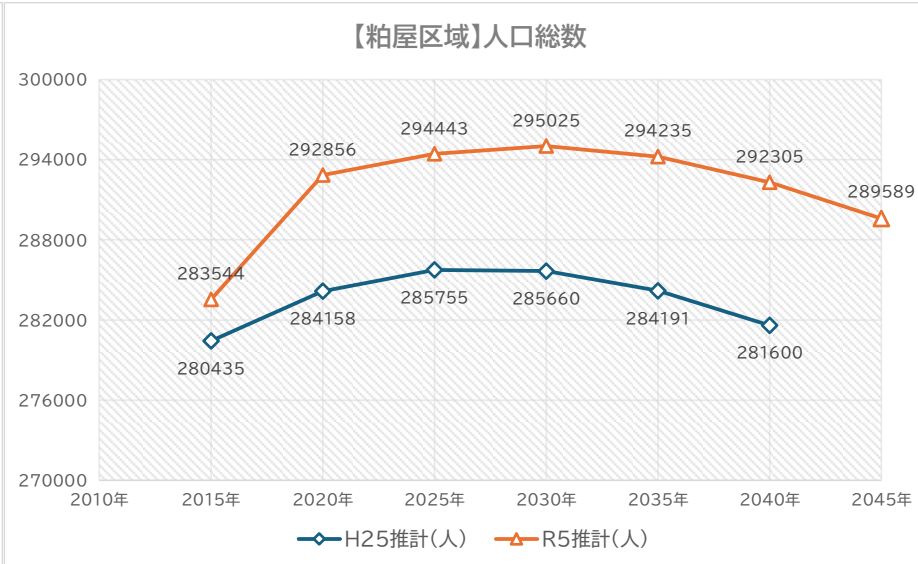
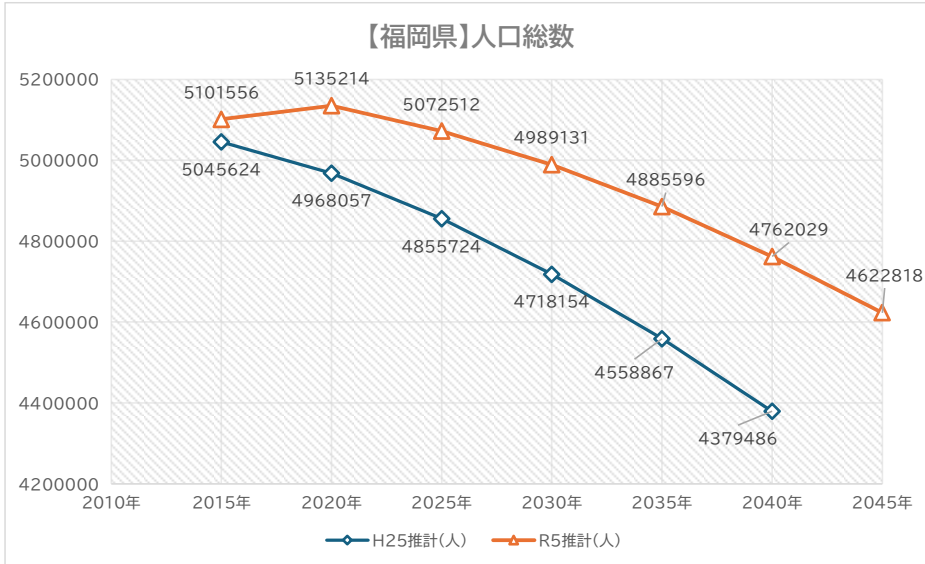
・R4年で出生率が県平均(7.1%)よりも低い市町は宇美町(6.8%)のみで、最も高いのは粕屋町の11.8%である

4. 死亡率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



- ・死亡率(人口千対)は、老年人口の増加もあり、全国、福岡県、粕屋区域ともに上昇傾向となっているが、粕屋区域の死亡率は全国、福岡県を大きく下回っている
- ・粕屋区域は、老年人口の割合が全国、福岡県と比較してかなり低いものの、死亡率は緩やかに上昇してきている
- ・市町別に見ると、各市町でやや異なった動きをしているが、概ね、上昇傾向にあるものと思料
- ・R4年の死亡率は、すべての市町で県平均(12.2%)よりも低く、最も低いのは粕屋町の7.8%である

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



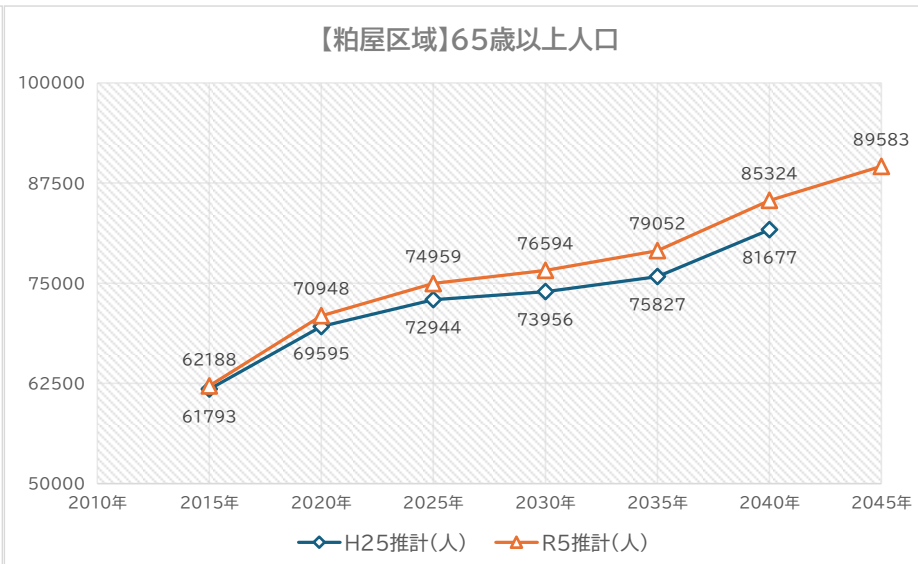
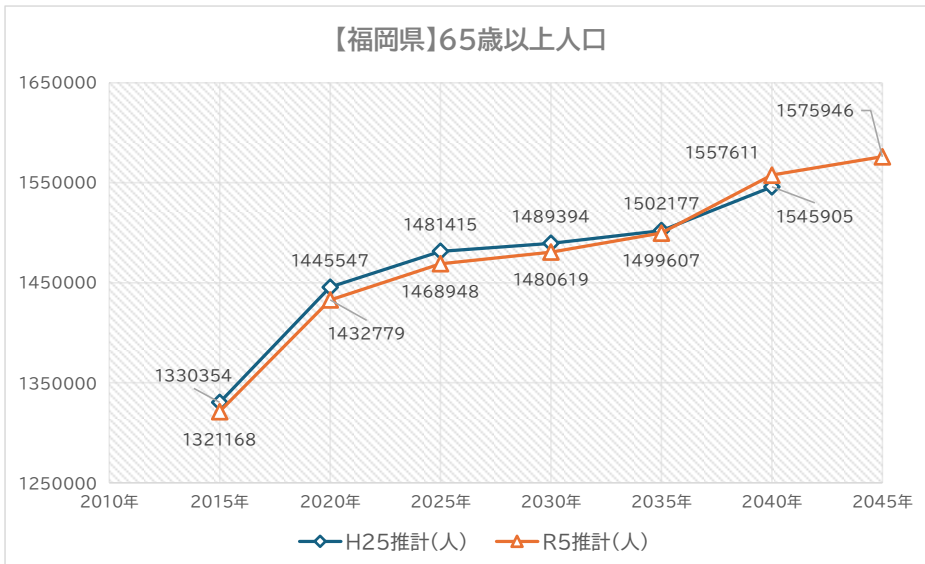
人口総数については、地域医療構想策定当時の推計(H25)と最新の推計(R5)を比べると、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

当初の推計では、2015年以降減少する見込みであったが、R5推計では、2020年をピークに緩やかに減少する見込み

【粕屋区域】

当初推計との乖離が非常に大きく、人口増加のピークは2025年から2030年にスライドしている



65歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

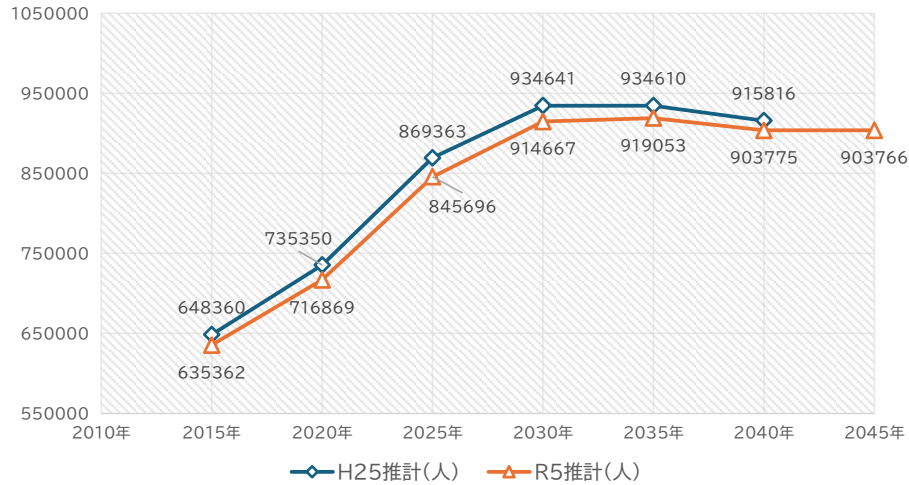
当初の推計と概ね同様の傾向で推移する

【粕屋区域】

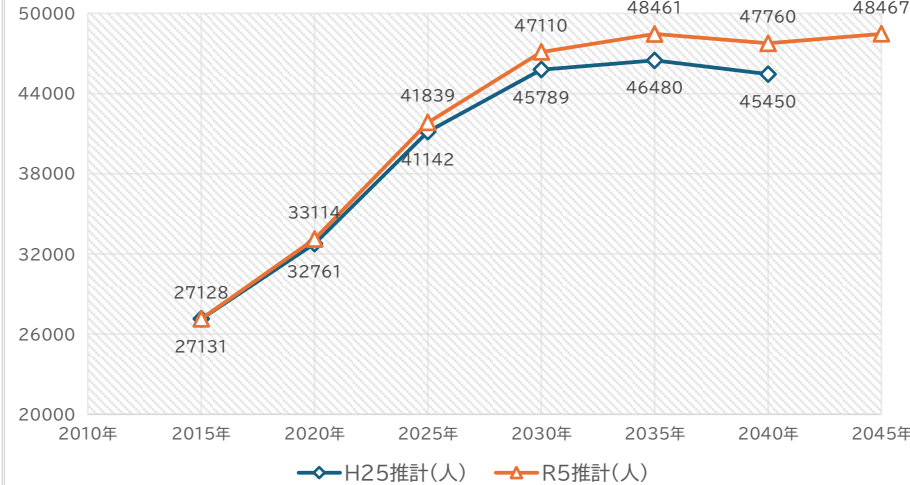
当初推計と同様の傾向で推移するが、徐々に増加傾向が強まる見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

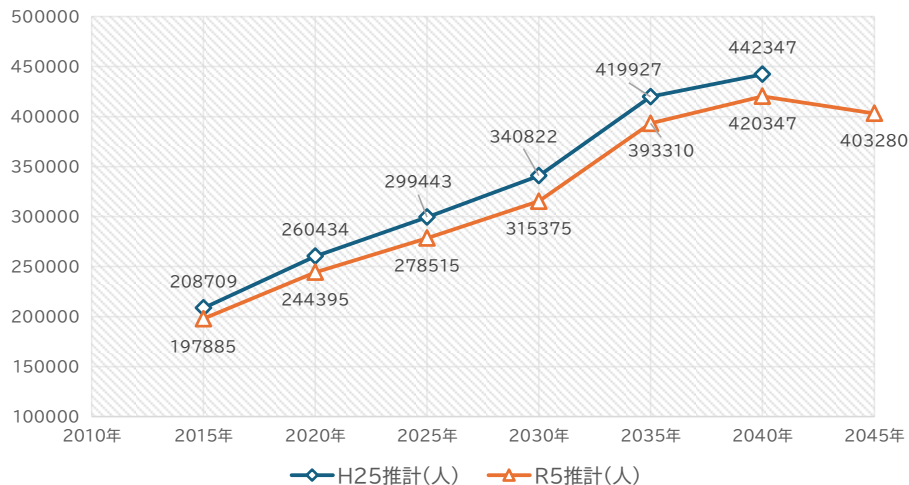
【福岡県】75歳以上人口



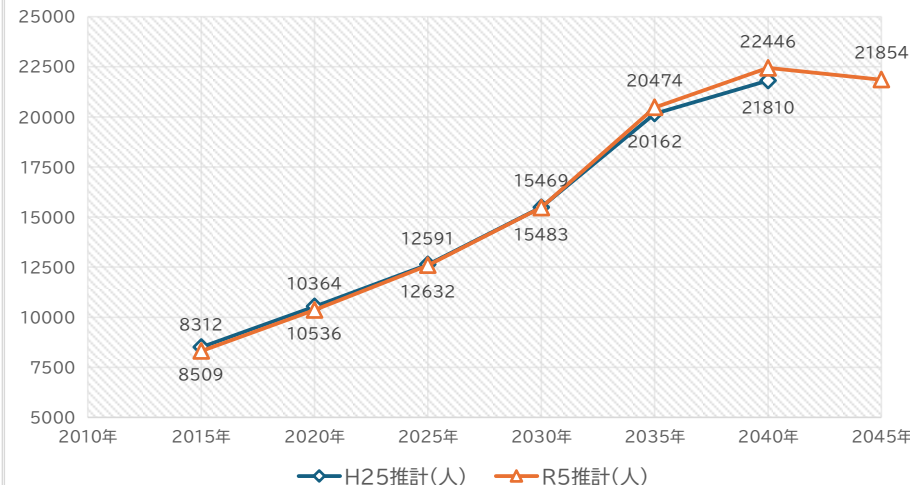
【粕屋区域】75歳以上人口



【福岡県】85歳以上人口



【粕屋区域】85歳以上人口



75歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

【粕屋区域】

当初推計と同様の傾向で推移する

85歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

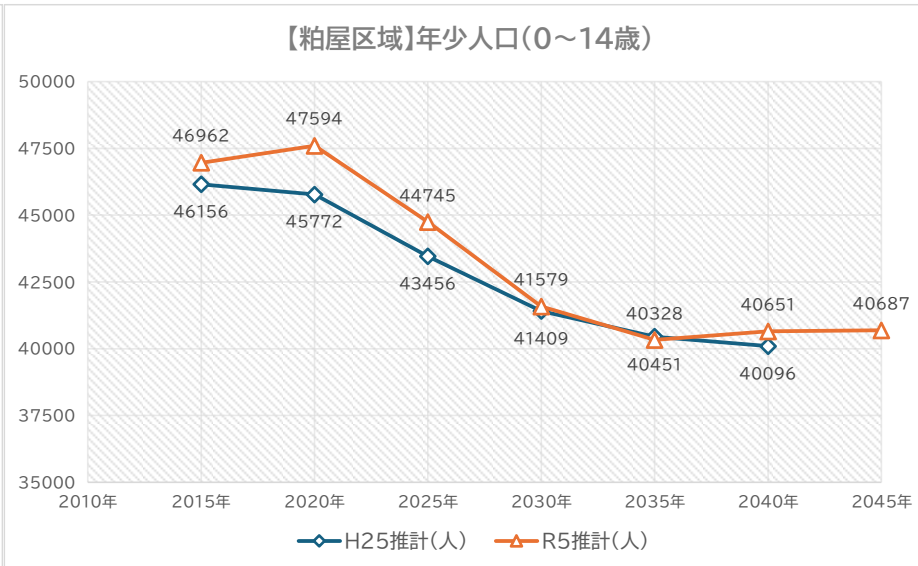
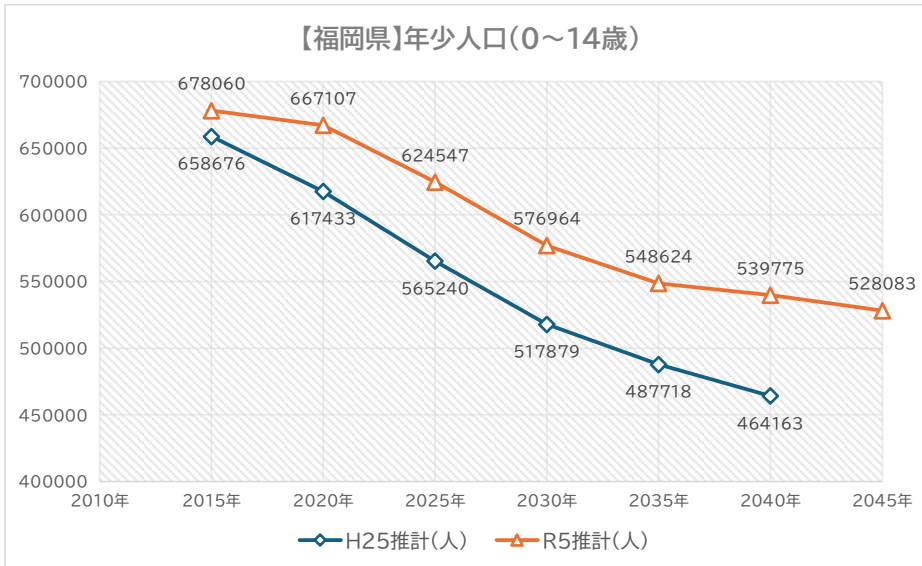
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

【粕屋区域】

当初推計と概ね同様の傾向で推移する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



年少人口については、以下の状況が読み取れる

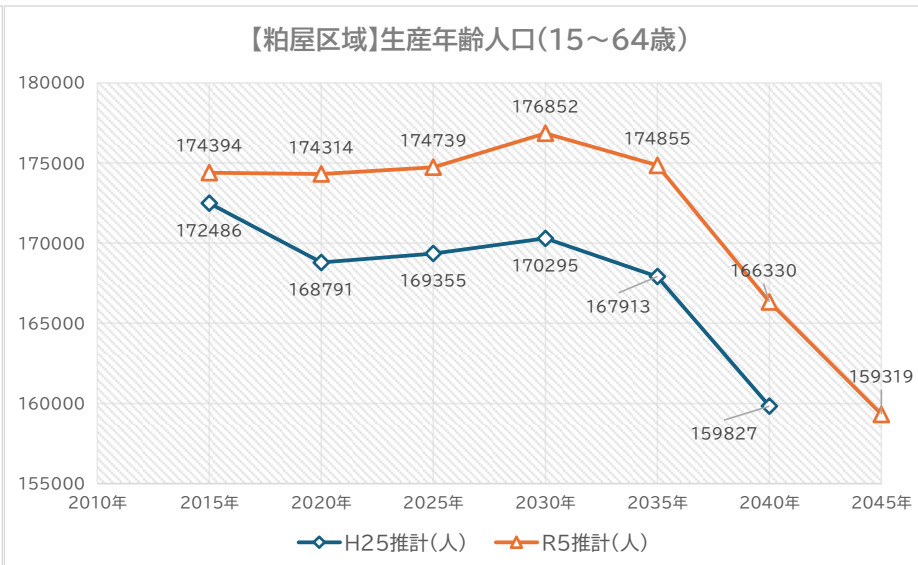
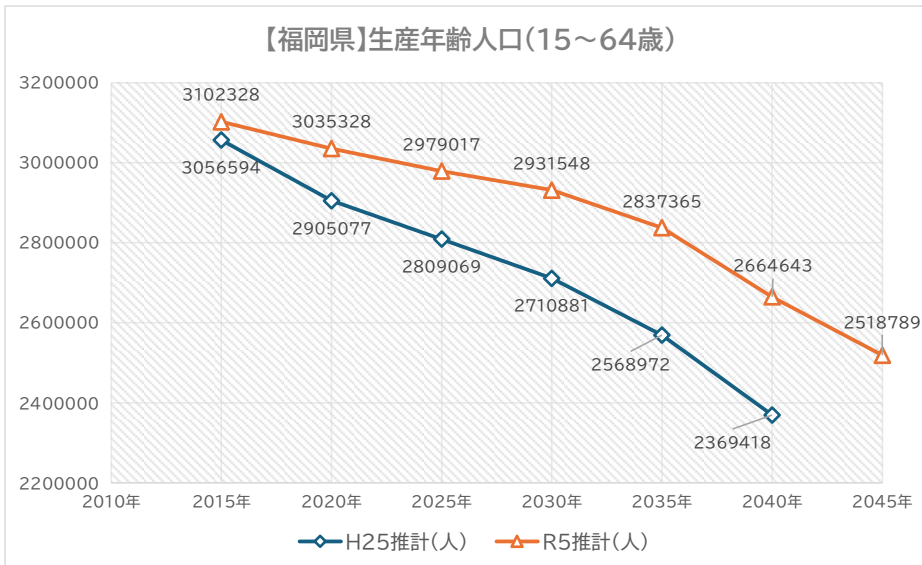
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

またR5推計では、2040年にかけて減少のカーブが緩やかになる見込み

【粕屋区域】

2025年までは当初の推計を大きく上回って推移するが、2030年以降は概ね同様の傾向で推移する見込み



生産年齢人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

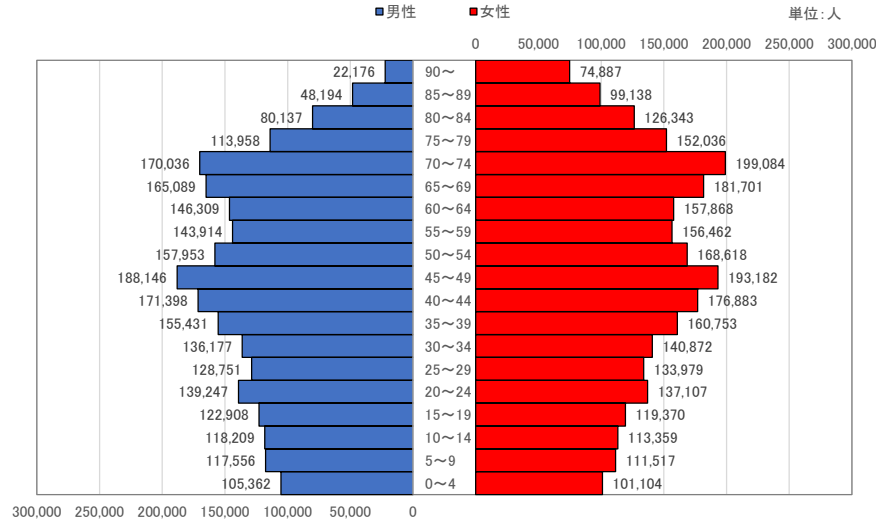
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

【粕屋区域】

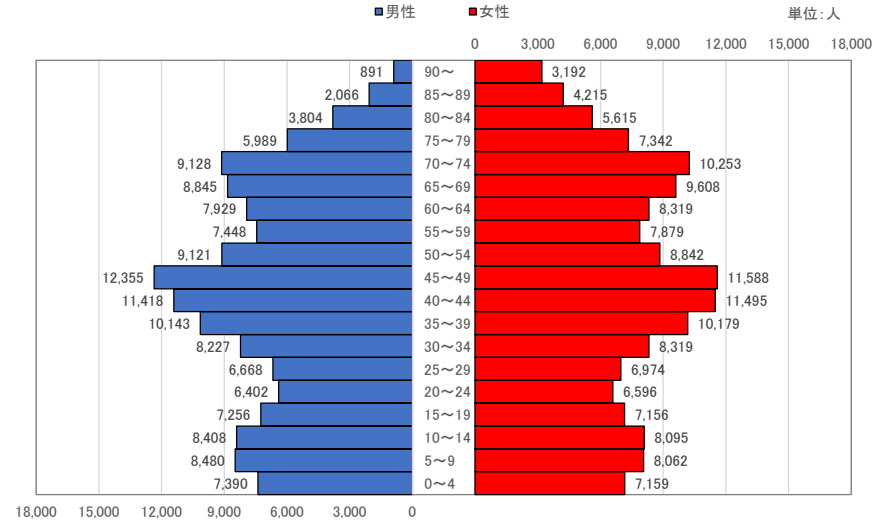
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数はそのものが多い人数で推移する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2020年】



【人口ピラミッドグラフ(粕屋)2020年】

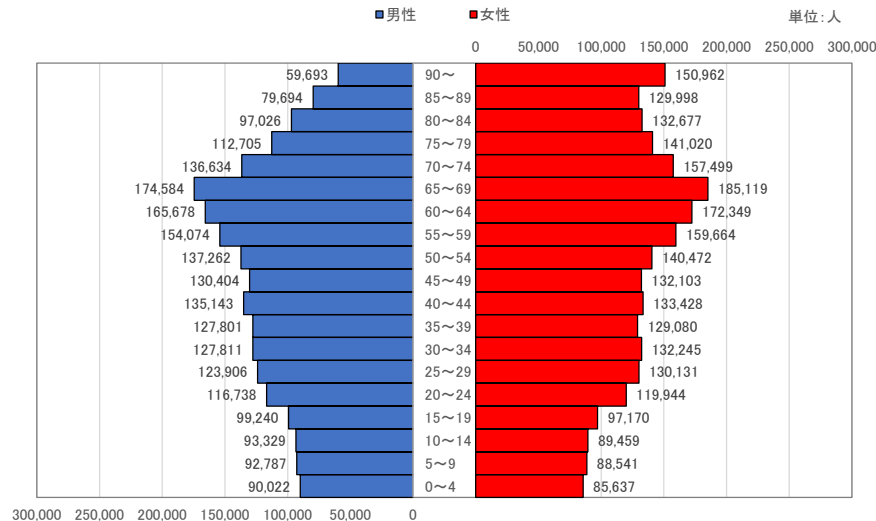


2020(令和2)年の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

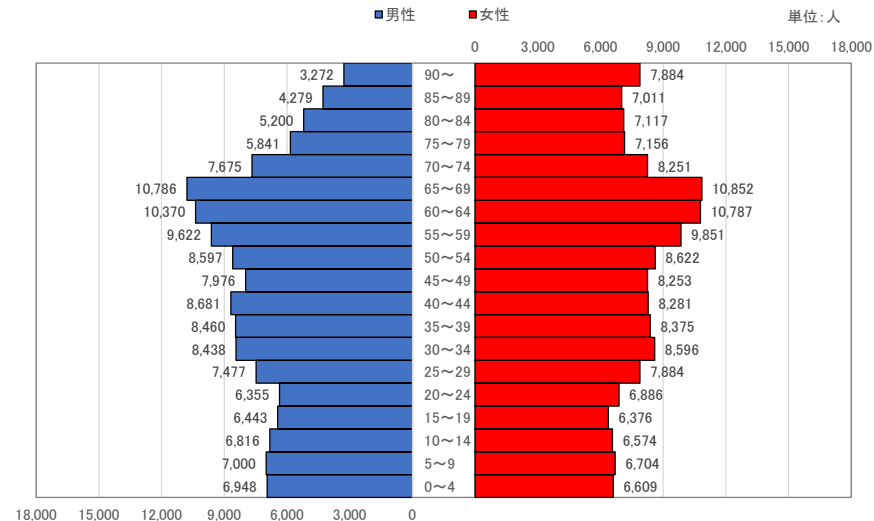
【福岡県全体】
第1次ベビーブーム期にあたる71~74歳、第二次ベビーブーム期にあたる45~49歳で2つの人口の山があり、年齢が下がるにつれて人口が少なくなるつぼ型となっている

【粕屋区域】
福岡県全体と比較して、40代人口とその子ども世代の年少人口のボリュームが大きく、20代人口が少ない状況が見られ、若年層よりも子育て世代が多い特徴が見られる

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2040年】



【人口ピラミッドグラフ(粕屋)2040年】



2040(令和22)年の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】
ベビーブーム世代は90歳以上、65~69歳となり、この年代の人口ボリュームを一定程度維持しつつ推移するが、少子化が進むことによって、2020年に比べて年少人口が大きく減少し、より底が狭まったつぼ型となっている

【粕屋区域】
2020年時点に比べて高齢化が進んでいる傾向が見られるものの、県全体と比較して、年少人口が大幅に減少する状況にはなっていない

6. 市町別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

将来の男女5歳階級別推計人口(2020年は国勢調査による実績値)

総数	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
古賀市	58,786	57,957	57,467	56,736	55,831	54,878	53,950	8.2%
宇美町	37,671	36,936	35,838	34,581	33,280	32,083	31,031	17.6%
篠栗町	31,209	30,620	30,253	29,851	29,388	28,872	28,299	9.3%
志免町	46,377	47,347	47,772	48,080	48,156	48,014	47,659	-2.8%
須恵町	28,628	29,282	29,480	29,472	29,360	29,173	28,983	-1.2%
新宮町	32,927	33,743	34,045	34,143	34,126	34,039	33,806	-2.7%
久山町	9,068	9,284	9,423	9,546	9,639	9,696	9,712	-7.1%
粕屋町	48,190	49,274	50,747	51,826	52,525	52,834	52,690	-9.3%
粕屋計	292,856	294,443	295,025	294,235	292,305	289,589	286,130	2.3%

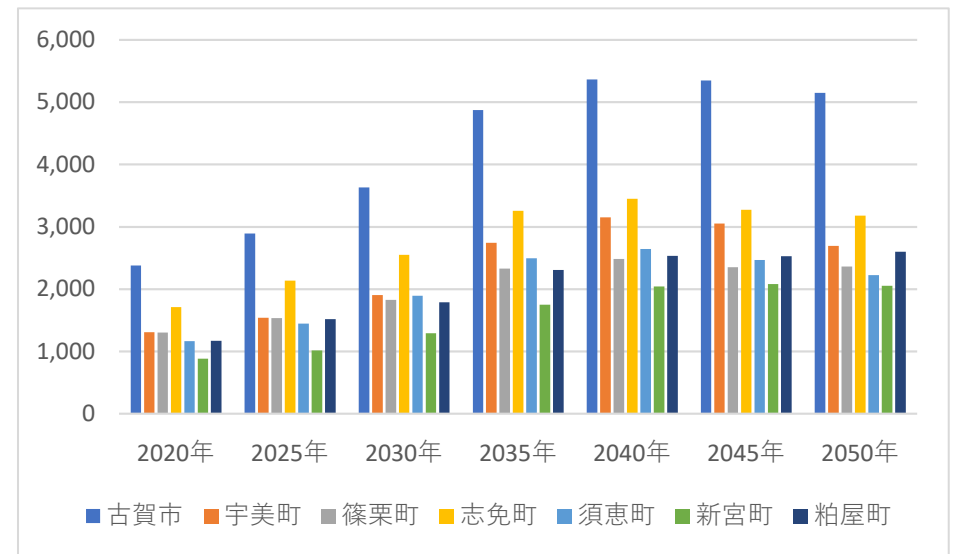
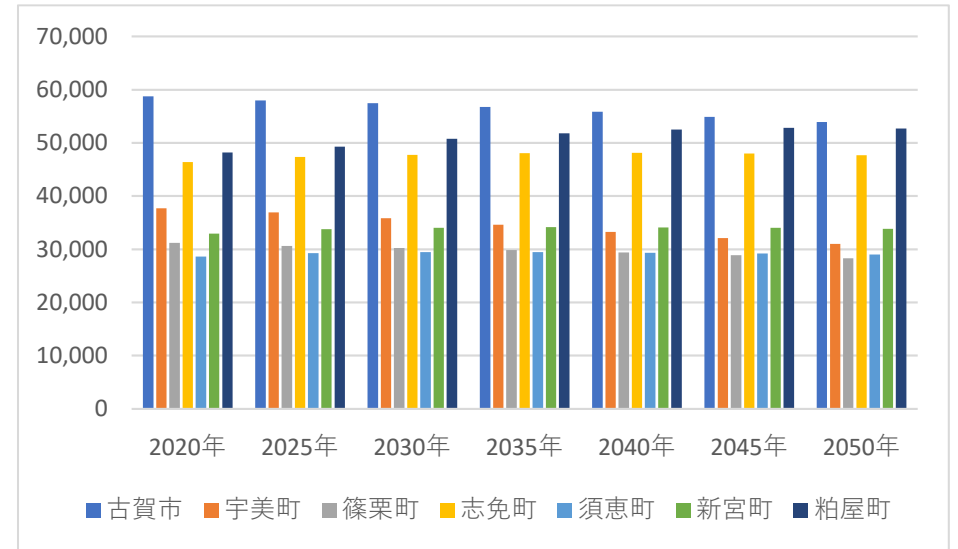
・古賀市、宇美町、篠栗町は2050年に向けて減少傾向であり、その他市町は増加傾向にある 2020年から2050年の減少率は、区域全体の人口総数で2.3%

・減少率を市町別で見ると、粕屋町は-9.3%と最も低く、宇美町は17.6%で最も高い

85歳以上	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増加率 (20→40)
古賀市	2,382	2,893	3,632	4,871	5,363	5,348	5,147	125.1%
宇美町	1,311	1,539	1,903	2,741	3,152	3,053	2,696	140.4%
篠栗町	1,301	1,537	1,825	2,327	2,484	2,350	2,362	90.9%
志免町	1,710	2,135	2,551	3,258	3,450	3,276	3,178	101.8%
須恵町	1,167	1,445	1,896	2,493	2,645	2,469	2,225	126.6%
新宮町	886	1,016	1,290	1,750	2,045	2,081	2,055	130.8%
久山町	434	506	583	728	771	750	691	77.6%
粕屋町	1,173	1,520	1,789	2,306	2,536	2,527	2,599	116.2%
粕屋計	10,364	12,591	15,469	20,474	22,446	21,854	20,953	116.6%

・多くの市町が2040年にピークを迎え、その後減少していく 新宮町のピークは2045年で、その後減少に転じる 粕屋町は2050年まで増加する

・増加率(2020→2040)を市町別で見ると、宇美町、新宮町は粕屋区域全体の増加率(116.6%)を大きく上回り、130%を超えている



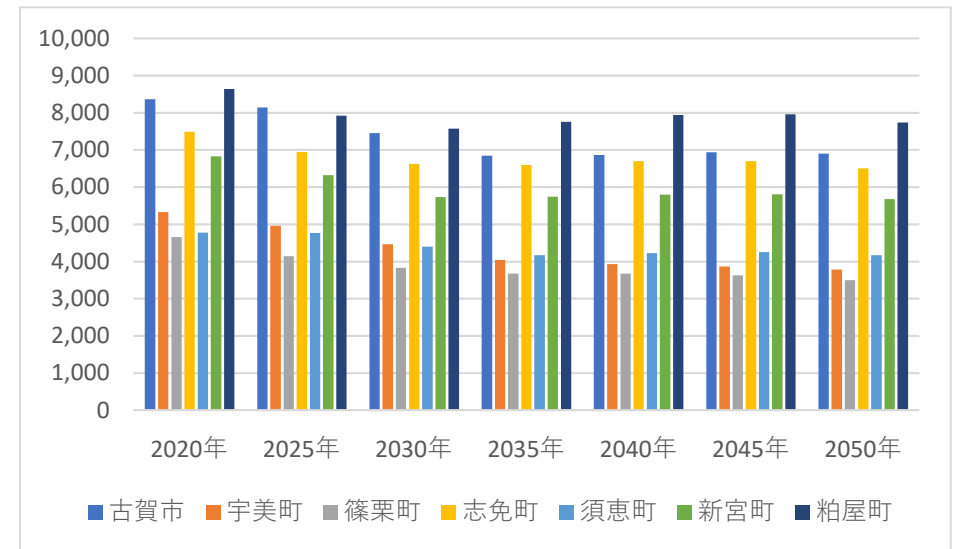
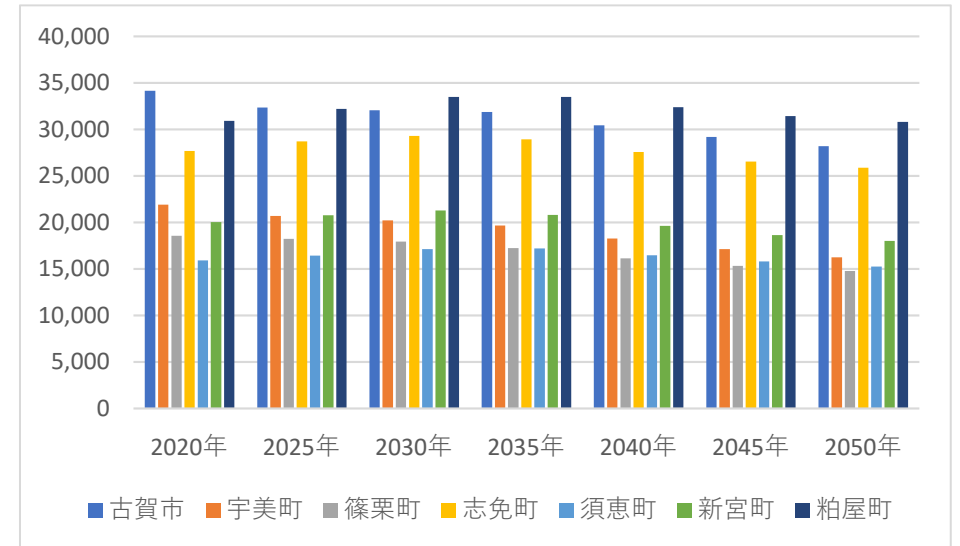
6. 市町別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

生産年齢人口 (15~64歳)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
古賀市	34,158	32,375	32,073	31,899	30,444	29,202	28,217	17.4%
宇美町	21,914	20,718	20,225	19,657	18,291	17,133	16,258	25.8%
篠栗町	18,550	18,237	17,926	17,255	16,128	15,337	14,777	20.3%
志免町	27,710	28,740	29,297	28,933	27,567	26,538	25,876	6.6%
須恵町	15,931	16,448	17,125	17,211	16,457	15,792	15,270	4.1%
新宮町	20,055	20,777	21,280	20,830	19,628	18,625	18,032	10.1%
久山町	5,079	5,222	5,423	5,549	5,422	5,244	5,155	-1.5%
粕屋町	30,917	32,222	33,503	33,521	32,393	31,448	30,827	0.3%
粕屋計	174,314	174,739	176,852	174,855	166,330	159,319	154,412	11.4%

- ・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている
- ・減少率を市町別で見ると、宇美町が25.8%で最も高く、次いで篠栗町の20.3%、古賀市の17.4%となっている

年少人口 (15歳未満)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
古賀市	8,364	8,145	7,456	6,849	6,862	6,939	6,906	17.4%
宇美町	5,332	4,966	4,466	4,043	3,928	3,867	3,784	29.0%
篠栗町	4,654	4,143	3,829	3,672	3,674	3,627	3,501	24.8%
志免町	7,490	6,949	6,628	6,598	6,700	6,701	6,510	13.1%
須恵町	4,778	4,771	4,396	4,170	4,225	4,252	4,167	12.8%
新宮町	6,825	6,322	5,734	5,748	5,796	5,805	5,675	16.8%
久山町	1,512	1,524	1,497	1,492	1,524	1,537	1,511	0.1%
粕屋町	8,639	7,925	7,573	7,756	7,942	7,959	7,742	10.4%
粕屋計	47,594	44,745	41,579	40,328	40,651	40,687	39,796	16.4%

- ・いずれの市町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている
- ・減少率を市町別で見ると、宇美町が29.0%で最も高く、次いで篠栗町の24.8%、古賀市の17.4%となっている



7. SCRの状況 (SCRが100以上の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(粕屋地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	86.8%	50.0%	60.0%	A 基本診療科	40.0%	16.7%	40.0%
B 医学管理等	76.9%	46.2%	63.6%	B 医学管理等	16.7%	0.0%	9.1%
C 在宅医療	54.5%	45.5%	40.6%	C 在宅医療	25.0%	19.0%	6.7%
D 検査	65.7%	32.8%	46.0%	D 検査	26.9%	17.4%	14.4%
E 画像	100.0%	60.0%	70.0%	E 画像	20.0%	30.0%	30.0%
F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%	F 投薬	66.7%	0.0%	0.0%
G 注射	62.5%	50.0%	76.9%	G 注射	18.2%	14.3%	23.1%
H リハビリテーション	75.0%	62.5%	75.0%	H リハビリテーション	100.0%	57.1%	71.4%
I 精神	66.7%	71.4%	50.0%	I 精神	33.3%	10.0%	12.5%
J 処置	66.3%	46.7%	67.1%	J 処置	45.0%	24.4%	33.3%
K 手術	76.1%	45.2%	73.6%	K 手術	26.1%	26.1%	18.0%
L 麻酔	60.0%	42.9%	58.3%	L 麻酔	41.7%	16.7%	9.1%
M 放射線治療	100.0%	40.0%	100.0%	M 放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%
N 病理診断	100.0%	42.9%	85.7%	N 病理診断	0.0%	0.0%	0.0%

・SCRが100以上の項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:545(73.3%)、外来:232(43.5%)、入院+外来:255(60.7%)

[粕屋]入院:166(30.2%)、外来:89(20.7%)、入院+外来76(19.3%)

・A~Nの分野ごとに見ると、粕屋区域では「リハビリテーション」がすべて100以上で、「投薬」の割合も高い

7. SCRの状況 (SCRが90未満の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(粕屋地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	10.3%	33.3%	20.0%	A 基本診療科	50.9%	33.3%	40.0%
B 医学管理等	23.1%	46.2%	27.3%	B 医学管理等	66.7%	83.3%	72.7%
C 在宅医療	36.4%	36.4%	37.5%	C 在宅医療	64.3%	73.8%	83.3%
D 検査	24.1%	47.0%	38.1%	D 検査	64.4%	73.9%	72.9%
E 画像	0.0%	20.0%	20.0%	E 画像	70.0%	60.0%	60.0%
F 投薬	0.0%	75.0%	33.3%	F 投薬	33.3%	75.0%	66.7%
G 注射	31.3%	31.3%	15.4%	G 注射	72.7%	78.6%	69.2%
H リハビリテーション	25.0%	25.0%	25.0%	H リハビリテーション	0.0%	42.9%	14.3%
I 精神	33.3%	21.4%	37.5%	I 精神	55.6%	80.0%	75.0%
J 処置	25.0%	42.2%	22.9%	J 処置	51.7%	67.9%	58.0%
K 手術	13.7%	43.9%	15.5%	K 手術	69.1%	70.3%	77.0%
L 麻酔	33.3%	57.1%	41.7%	L 麻酔	58.3%	83.3%	81.8%
M 放射線治療	0.0%	60.0%	0.0%	M 放射線治療	100.0%	100.0%	100.0%
N 病理診断	0.0%	28.6%	0.0%	N 病理診断	100.0%	71.4%	71.4%

・SCRが90を下回る項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:137(18.4%)、外来:226(42.4%)、入院+外来:112(26.7%)

[粕屋]入院:349(63.5%)、外来:307(71.4%)、入院+外来:278(70.6%)

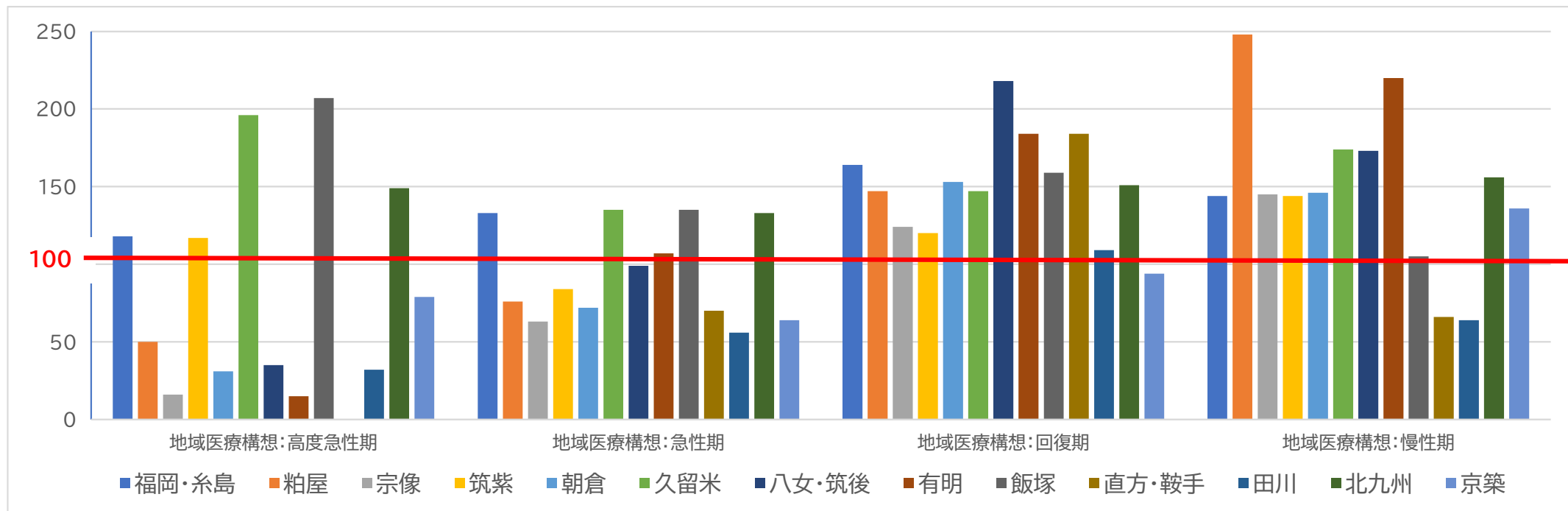
・粕屋区域では、多くの分野で90を下回る項目が多い傾向があり、「放射線治療」「病理診断」はすべて90を下回っている

7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較①)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
地域医療構想:高度急性期	118	50	16	117	31	196	35	15	207		32	149	79
地域医療構想:急性期	133	76	63	84	72	135	99	107	135	70	56	133	64
地域医療構想:回復期	164	147	124	120	153	147	218	184	159	184	109	151	94
地域医療構想:慢性期	144	248	145	144	146	174	173	220	105	66	64	156	136

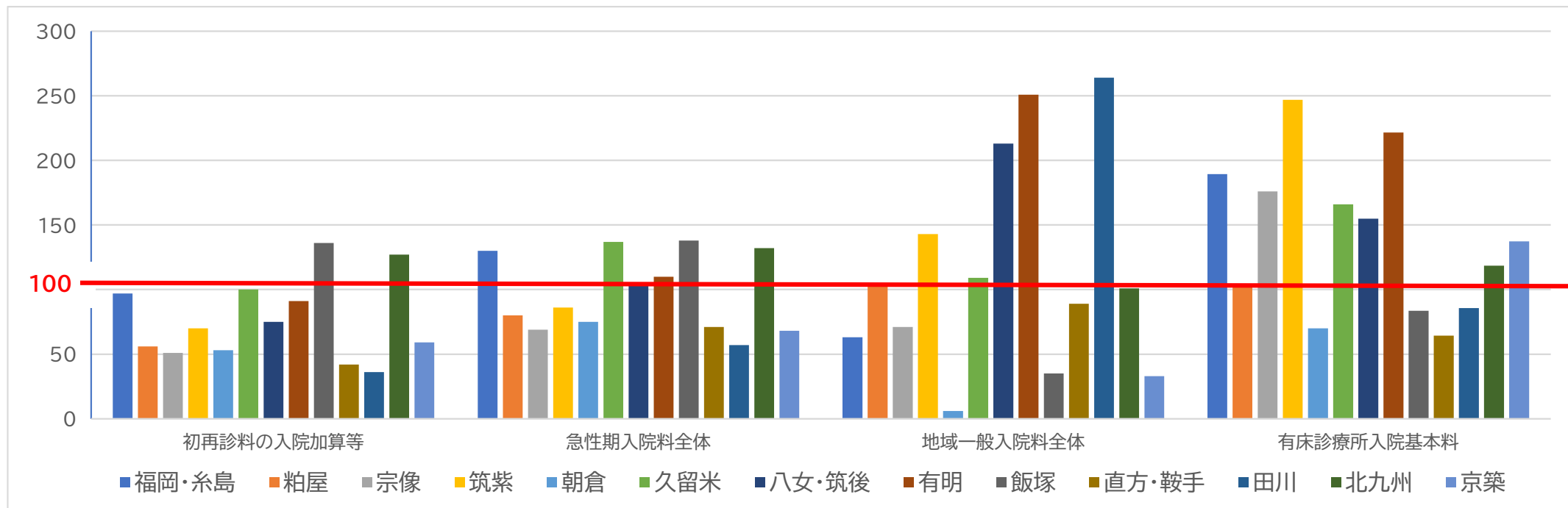


7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較②)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

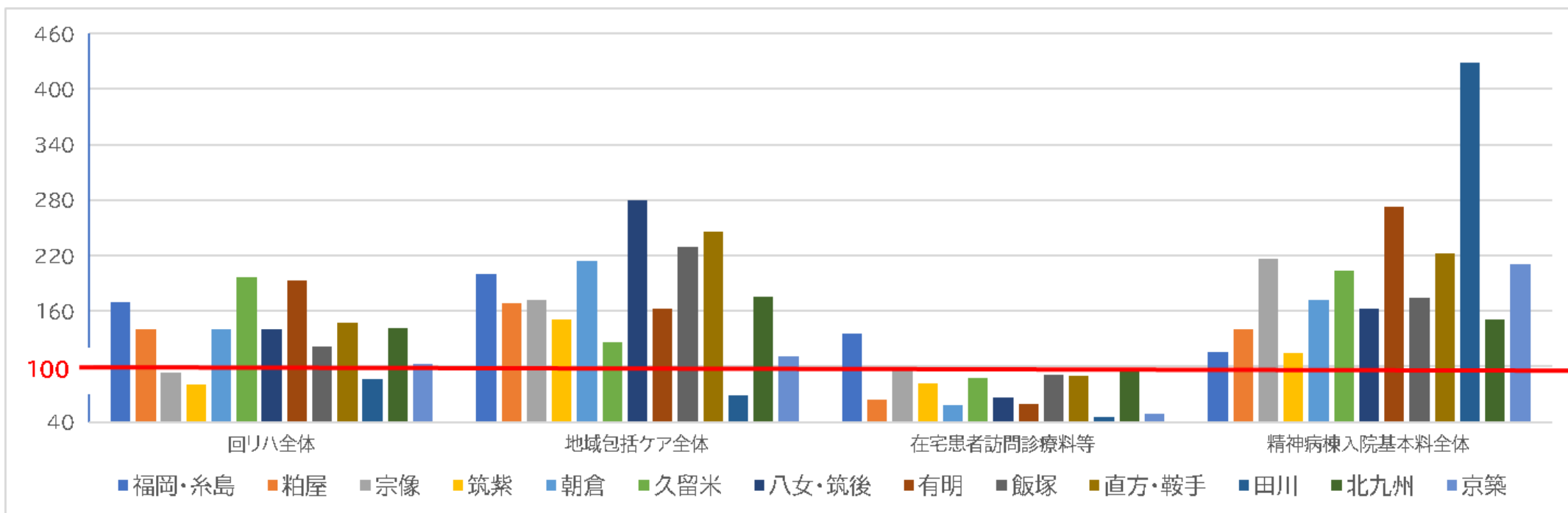
	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
初再診料の入院加算等	97	56	51	70	53	100	75	91	136	42	36	127	59
急性期入院料全体	130	80	69	86	75	137	105	110	138	71	57	132	68
地域一般入院料全体	63	103	71	143	6	109	213	251	35	89	264	101	33
有床診療所入院基本料	190	103	176	247	70	166	155	222	84	64	86	119	137



7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較③)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)
 (独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
回り八全体	170	140	94	80	140	196	140	193	122	147	86	141	103
地域包括ケア全体	200	168	172	151	214	126	280	163	229	246	69	175	111
在宅患者訪問診療料等	136	64	99	82	58	88	66	60	91	90	46	98	49
精神病棟入院基本料全体	116	140	216	114	172	204	162	273	174	222	429	151	211



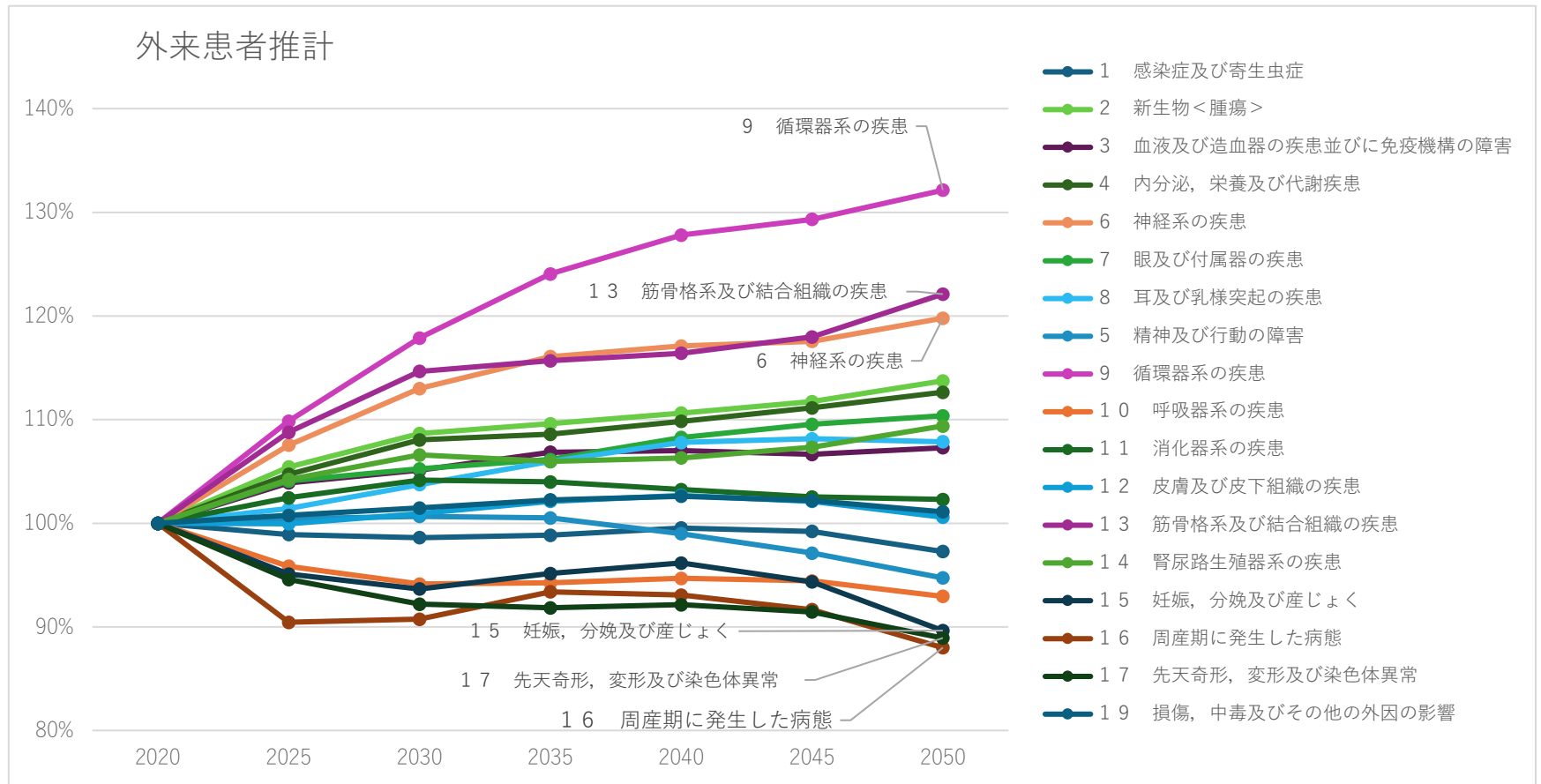
8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

粕屋区域(市区町村別の患者推計は、別紙資料1を参照)

【外来患者推計】

神経系、循環器系、筋骨格系については、2050年頃まで増加が続くが、周産期、妊娠・分娩、小児科、呼吸器系は減少していく見込み

それ以外については、2050まで増加する見込み



2020年を基準とした外来患者総数は、2050年まで微増で推移するものと思料

・増加率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列9〔循環器系の疾患〕
(対応する診療科)
→循環器内科、心臓血管外科
- 系列13〔筋骨格系及び結合組織の疾患〕
(対応する診療科)
→外科、整形外科、リウマチ科
- 系列6〔神経系の疾患〕
(対応する診療科)
→神経内科、脳神経外科

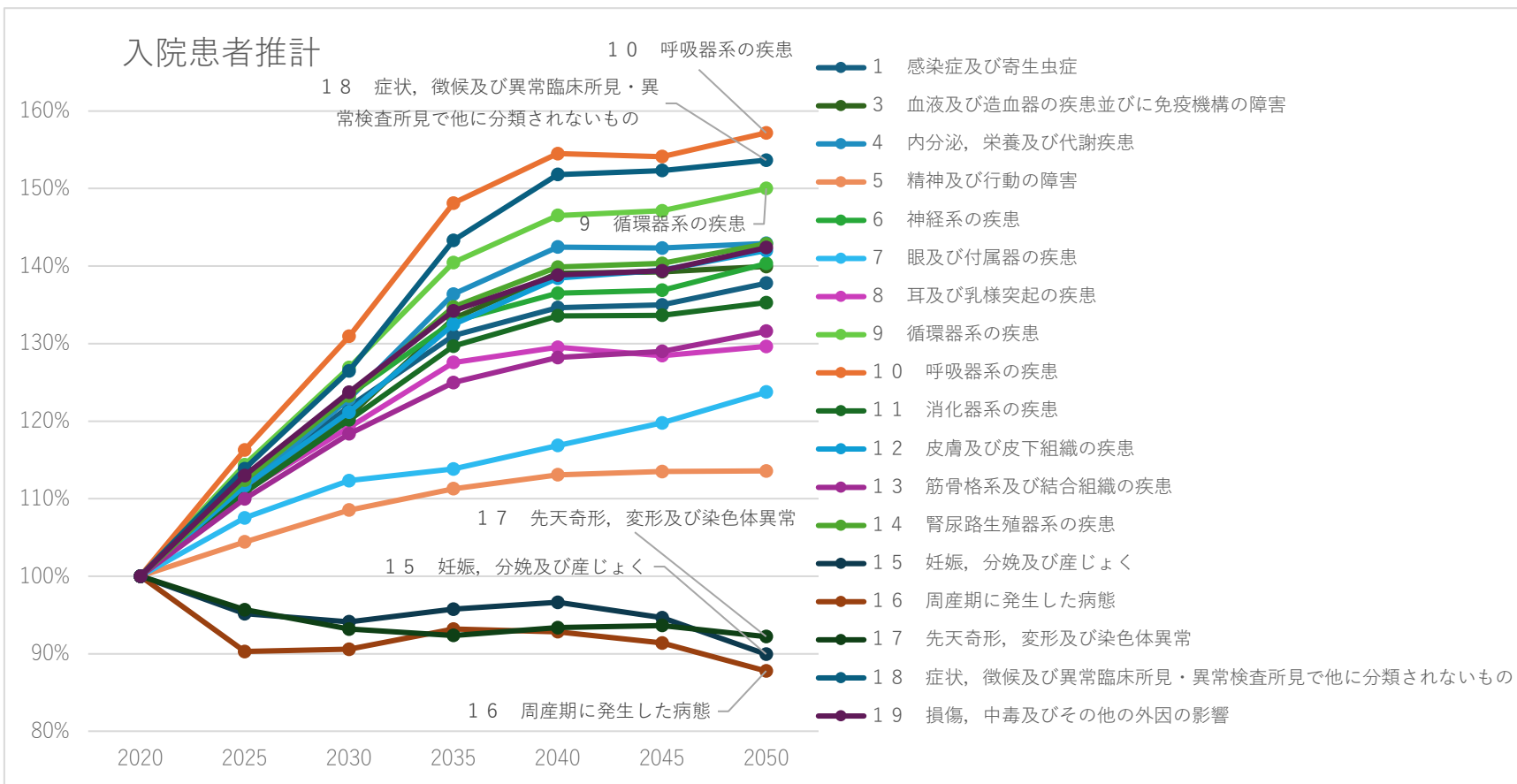
・減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕
(対応する診療科)
→産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常の疾患〕
(対応する診療科)
→小児科、小児外科
- 系列10〔呼吸器系の疾患〕
(対応する診療科)
→呼吸器内科、呼吸器外科
- 系列5〔精神及び行動の障害の疾患〕
(対応する診療科)
→精神科、心療内科

8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

【入院患者推計】

呼吸器、血液、皮膚、循環器、感染症、腎尿路、筋骨格、神経系、内分泌、眼科、消化器系は、2050年頃まで増加が続く見込み
 周産期、妊娠・分娩系は、減少していく見込み



2020年を基準とした入院患者総数は、2050年まで増加傾向で推移するものと思料

・2050年時点で、増加率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列10〔呼吸器系の疾患〕
 (対応する診療科)
 →呼吸器内科、呼吸器外科
- 系列9〔循環器系の疾患〕
 (対応する診療科)
 →循環器内科、心臓血管外科
- 系列4〔内分泌、栄養及び代謝疾患〕
 (対応する診療科)
 →糖尿病内科(代謝内科)
- 系列14〔腎尿路生殖器系の疾患〕
 (対応する診療科)
 →腎臓内科、泌尿器科、婦人科

・2050年時点で、減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕
 →産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常の疾患〕
 (対応する診療科)
 →小児科、小児外科
- 系列5〔精神及び行動の障害〕
 (対応する診療科)
 →精神科、心療内科
- 系列7〔眼及び付属器の疾患〕
 (対応する診療科)
 →眼科

9. 医療従事者数〔医師〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）※人口：福岡県人口移動調査（R4.12.1）

		医師数	人口10万人当たり
古賀市		203	347.4
	病院	165	282.4
	診療	38	65.0
宇美町		42	111.9
	病院	16	42.6
	診療	26	69.3
篠栗町		59	192.1
	病院	45	146.5
	診療	14	45.6
志免町		99	213.3
	病院	58	124.9
	診療	41	88.3
須恵町		32	110.5
	病院	17	58.7
	診療	15	51.8
新宮町		32	97.4
	病院	7	21.3
	診療	25	76.1
久山町		14	151.6
	病院	7	75.8
	診療	7	75.8
粕屋町		99	202.2
	病院	70	143.0
	診療	29	59.2
粕屋		580	197.9
	病院	385	131.3
	診療	195	66.5
福岡県 計		15,968	312.0
	病院	11,025	215.4
	診療	4,943	96.6

◆医師偏在指標及び県内・全国順位（県内二次保健医療圏、周産期医療圏、小児科）

		医師偏在指標		
		数値	県内順位	全国順位
医師全体	福岡県	313.3	—	3/47
	福岡・糸島	399.0	2/13	6/330
	粕屋	220.7	7/13	105/330
	宗像	198.4	10/13	168/330
	筑紫	224.7	6/13	97/330
	飯塚	341.3	3/13	21/330
	直方・鞍手	184.4	12/13	205/330
産科	福岡県	11.0	—	12/47
	福岡	10.4	3/4	94/258
	筑後	11.6	2/4	71/258
	筑豊	8.7	4/4	147/258
	北九州	12.7	1/4	53/258
小児科	福岡県	122.0	—	16/47
	福岡・糸島	128.1	3/13	75/303
	粕屋	81.7	11/13	250/303
	宗像	96.8	7/13	182/303
	筑紫	85.0	10/13	228/303
	飯塚	124.0	5/13	88/303
	直方・鞍手	81.5	12/13	251/303

「福岡県医師確保計画（令和6年3月）「医師偏在指標及び県内・全国順位」から抜粋」

- ・人口10万人当たりの医師数で100を切っているのは新宮町のみである
- ・医師偏在指標を見ると、粕屋区域は医師全体の県内順位は7位であるが、小児科医師の県内順位は11位と低位にある

9. 医療従事者数〔医師〕 診療所開設者年齢ピラミッド「公衆衛生等に係る医療の提供状況(令和5年9月福岡県医療指導課)」

年齢階級	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	飯塚	直方・鞍手	福岡県
90 -	9	0	0	0	2	0	23
85 - 89	20	1	5	2	1	1	43
80 - 84	22	2	4	5	4	1	74
75 - 79	59	4	3	12	7	8	208
70 - 74	167	18	5	31	15	9	466
65 - 69	175	24	6	41	24	16	550
60 - 64	201	30	24	34	17	10	544
55 - 59	169	18	6	27	10	4	419
50 - 54	119	11	8	25	11	4	321
45 - 49	108	13	11	22	5	2	243
40 - 44	46	8	1	11	3	2	121
35 - 39	14	0	0	3	0	3	31
30 - 34	6	0	2	0	0	0	9
- 29	1	0	0	0	0	0	1
Total	1,116	129	75	213	99	60	3,053

・診療所開設者の年齢ピラミッドを見ると、粕屋区域は「60-64」「65-69」がボリュームゾーンとなっている

・医師不足や後継者確保(継承)の困難さを鑑みると、10年後、20年後の体制を考えておく必要があるのではないか

10. 医療従事者数〔医師・診療科①〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来 入院	増加		減少		増加		増加		増加		減少		増加		
	増加	増加	減少	減少	増加	増加	増加	増加	増加	増加	減少	増加	増加	増加	
	内科	整形外科	小児科	消化器内科 (胃腸内科)	精神科	外科	循環器内科	眼科	腎臓内科	脳神経内科	臨床研修医	呼吸器内科	麻酔科	脳神経外科	泌尿器科
古賀市	41	14	12	18	10	7	5	4	10	7	12	9	4	7	3
宇美町	13	6	3	2	4	2	1	2	-	1	-	-	2	1	1
篠栗町	18	3	3	2	5	1	7	3	1	6	-	-	1	1	-
志免町	31	9	3	1	7	4	2	2	6	3	-	-	3	2	3
須恵町	19	1	2	1	-	2	1	1	-	1	-	1	-	1	-
新宮町	8	4	5	1	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	4
久山町	7	1	3	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-
粕屋町	22	13	2	3	2	4	3	5	1	-	6	4	5	2	2
粕屋	159	51	33	29	28	21	20	20	18	18	18	15	15	14	13

外来 入院	増加		減少		増加		減少		増加		減少		増加		減少	
	増加	増加	減少	減少	増加	増加	増加	増加	増加	減少	減少	増加	増加	減少	減少	
	皮膚科	リハビリテー ション科	耳鼻 いんこう科	産婦人科	放射線科	糖尿病内科 (代謝内科)	呼吸器外科	消化器外科 (胃腸外科)	救急科	血液内科	感染症内科	産科	婦人科	病理診断科	心療内科	
古賀市	3	1	1	-	5	3	5	1	1	3	3	3	2	2	2	
宇美町	2	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
篠栗町	1	1	1	1	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
志免町	1	2	-	6	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	
須恵町	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新宮町	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
久山町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
粕屋町	1	5	2	1	2	-	2	-	3	-	-	-	1	1	-	
粕屋	12	9	8	8	8	7	7	6	4	3	3	3	3	3	2	

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

10. 医療従事者数〔医師・診療科②〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来
入院

	増加	増加 増加	増加 増加				
	乳腺外科	形成外科	心臓血管 外科	肛門外科	全科	その他	不詳
古賀市	-	-	1	-	-	3	1
宇美町	-	-	-	-	-	-	-
篠栗町	-	-	-	-	-	-	-
志免町	-	-	-	1	-	8	-
須恵町	1	-	-	-	-	-	-
新宮町	-	-	-	-	-	-	-
久山町	-	-	-	-	-	-	-
粕屋町	1	2	-	-	1	1	2
粕屋	2	2	1	1	1	12	3

令和6年3月に策定した「福岡県外来医療計画」の構想区域の
主な意見

- ・特に中南部で小児救急に対応する医師が不足している

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

11. 医療従事者数〔常勤医師①〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
古賀市	独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター		111.2	78.0%	533.4	0	68	311	0	120	0	87.9%	3,761
		常勤	87		518	0							
		非常勤	24.2		15.4	0							
	北九州古賀病院		20.4	78.0%	159	46.6	0	0	100	281	0	96.2%	0
		常勤	16		159	45							
		非常勤	4.4		0	1.6							
	福岡聖恵病院		21.2	85.0%	116	24.7	0	0	40	58	0	93.2%	0
		常勤	18		108	23							
		非常勤	3.2		8	1.7							
	医療法人社団 愛和会 産科・婦人科 愛和病院		4.9	61.0%	6.7	3	0	30	0	0	0	55.4%	0
		常勤	3		5	3							
		非常勤	1.9		1.7	0							
	医療法人社団愛和会古賀中央病院		6.8	59.0%	30	1.4	0	60	0	0	0	71.0%	*
		常勤	4		28	1							
		非常勤	2.8		2	0.4							
	医療法人 亀山整形外科医院		2	50.0%	6.5	4	0	19	0	0	0	44.8%	0
常勤		1	6		4								
非常勤		1	0.5		0								
医療法人中山内科胃腸科医院		1	100.0%	2	5	0	14	0	0	0	44.8%	0	
	常勤	1		2	3								
	非常勤	0		0	2								
医療法人 Y&K かい整形外科医院		2	50.0%	6.3	6.2	0	19	0	0	0	70.7%	0	
	常勤	1		2	5								
	非常勤	1		4.3	1.2								
宇美町	医療法人社団廣徳会 岡部病院		11.9	59.0%	72.5	3	0	0	0	123	0	69.4%	309
		常勤	7		70	3							
		非常勤	4.9		2.5	0							
	医療法人みなみ粕屋南病院		9	56.0%	45.2	9.8	0	0	0	206	0	82.9%	*
		常勤	5		39	8							
非常勤	4	6.2	1.8										

※月別の件数に1件～9件の数値がある場合、「*」表記
救急告示

救急告示

11. 医療従事者数〔常勤医師②〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)	
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中			
宇美町	河野粕屋病院	常勤	6.3	32.0%	28.9	25.6	0	0	0	23	0	56.9%	0	
		非常勤	2		25	24								
	医療法人 道生会 山崎産婦人科小児科医院	常勤	4.3	67.0%	3.9	1.6	0	11	0	0	0	6.2%	0	
		非常勤	3		5	6								
		常勤	2		5	6								
		非常勤	1		0	0								
篠栗町	医療法人井上会篠栗病院	常勤	23.1	61.0%	119.7	22.4	0	45	90	55	0	80.3%	597	
		非常勤	14		116	22								
	浜江堂三野原病院	常勤	11	55.0%	66.6	5.2	0	0	0	150	0	85.0%	*	
		非常勤	6		59	3								
	河野病院	常勤	5.7	53.0%	16.8	9	0	0	0	0	21	0.0%	0	
		非常勤	3		13	7								
	社会医療法人北九州病院 北九州若杉病院	常勤	10.9	73.0%	96.2	24	0	0	0	237	0	95.9%	0	
		非常勤	8		93	24								
	藤産婦人科医院	常勤	1	100.0%	0	4	0	8	0	0	0	39.7%	0	
		非常勤	1		0	4								
	志免町	社会保険仲原病院	常勤	20.9	67.0%	107.4	5.2	0	46	79	0	0	89.2%	*
			非常勤	14		104	4							
栄光病院		常勤	17.5	91.0%	155.3	5	0	116	34	28	0	81.8%	244	
		非常勤	16		149	5								
医療法人社団日晴会久恒病院		常勤	1.5	37.0%	6.3	0	0	47	0	0	0	97.4%	*	
		非常勤	4		24	1								
		6.7		13.3	1.7									

※月別の件数に1件～9件の数値がある場合、「*」表記

救急告示

救急告示

救急告示

救急告示

11. 医療従事者数〔常勤医師③〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
志免町	うへの病院	常勤	9.2	54.0%	43.3	6.8	0	36	0	0	0	93.6%	*
		非常勤	5		42	6							
	医療法人養真堂 産婦人科筑紫クリニック	常勤	7	43.0%	4.5	3	0	19	0	0	0	124.3%	*
		非常勤	3		4	3							
	権丈産婦人科医院	常勤	4	50.0%	1	2.2	0	11	0	0	0	52.6%	*
		非常勤	2		1	2							
須恵町	医療法人成雅会 泰平病院	常勤	8.8	57.0%	44.5	5.7	0	0	0	119	0	93.3%	0
		非常勤	5		42	5							
	医療法人社団正信会水戸病院	常勤	12.3	16.0%	79.8	13.4	0	0	40	72	0	87.0%	*
		非常勤	2		69	13							
	医療法人 須恵外科胃腸科医院	常勤	3	100.0%	1.1	2.1	0	0	19	0	0	0.5%	0
		非常勤	3		1	1							
新宮町	医療法人豊資会加野病院	常勤	8.6	70.0%	38.9	0	0	30	0	0	0	64.7%	*
		非常勤	6		34	0							
	福岡県こども療育センター新光園	常勤	4.5	67.0%	38	1	0	0	30	0	0	29.5%	0
		非常勤	3		38	1							
	医療法人原外科医院	常勤	3	33.0%	5.7	4.4	0	0	8	0	0	72.4%	0
		非常勤	1		3	2							
医療法人成松循環器科医院	常勤	1	100.0%	2	0	0	17	0	0	0	0.0%	0	
	非常勤	1		1	0								

※月別の件数に1件～9件の数値がある場合、「*」表記

11. 医療従事者数〔常勤医師④〕（令和5年度「病床機能報告」）

市町村名	医療機関名	医師数		常勤医師割合	(参考) 看護師数	(参考) 准看護師数	許可病床数					病床稼働率((在棟・在院患者延べ数+退棟・退院患者数)/(許可病床数*365))	救急車受入数(※)
							高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中		
新宮町	医療法人豊民会新宮整形外科医院	1.2		83.0%	6.5	2.6	0	19	0	0	0	69.2%	0
		常勤 1			6	2							
		非常勤 0.2			0.5	0.6							
久山町	久山療育園重症児者医療療育センター	0		-	59.4	4.2	0	0	0	94	0	96.3%	0
		常勤 0			58	3							
		非常勤 0		1.4	1.2								
	医療法人志方医院	4		25.0%	6	0	0	0	0	0	2	0.0%	0
常勤 1			5		0								
	非常勤 3			1	0								
粕屋町	福岡青洲会病院	63		81.0%	223.5	2	10	157	46	0	0	85.8%	3,019
		常勤 51			201	2							
		非常勤 12			22.5	0							
	片井整形外科・内科病院	5		100.0%	20	7.8	0	46	0	0	0	58.8%	*
		常勤 5			20	5							
		非常勤 0			0	2.8							
	医療法人社団三誠会 ひまわり病院	4		75.0%	15	2	0	36	0	0	0	84.9%	*
		常勤 3			14	2							
		非常勤 1			1	0							
	尾石内科消化器科医院	2		100.0%	2.3	1	0	2	0	0	0	39.2%	0
常勤 2			2		1								
	非常勤 0			0.3	0								
ゆいレディースクリニック	1		100.0%	9	1	0	13	0	0	0	12.5%	0	
	常勤 1			8	1								
	非常勤 0			1	0								

※月別の件数に1件~9件の数値がある場合、「*」表記

救急告示

救急告示

救急告示

12. 医療介護資源の状況 (日医総研ワーキングペーパー(2023年4月第6版))

●【地域の概要】

一人当たり医療費(国保):384千円(偏差値53)

一人当たり介護給付費:241千円(偏差値43)

●【医療の現状】

病院数:26、人口10万人当たり8.9(偏差値56)

診療所数:182、人口10万人当たり62(偏差値40)

総医師数:762、人口10万人当たり260(偏差値46)

専門医数

小児科:33、人口10万人当たり11.3(偏差値50)

産婦人科:19、人口10万人当たり6.5(偏差値44)

総合内科:79、人口10万人当たり27(偏差値51)

看護師数:3,095、人口10万人当たり1057(偏差値55)

●【介護施設や在宅ケアの現状】

高齢者施設・住宅定員数:3,430、75歳以上1,000人当たり104(偏差値54)

(うち、介護保険施設定員:2,240、75歳以上1,000人当たり68(偏差値58)

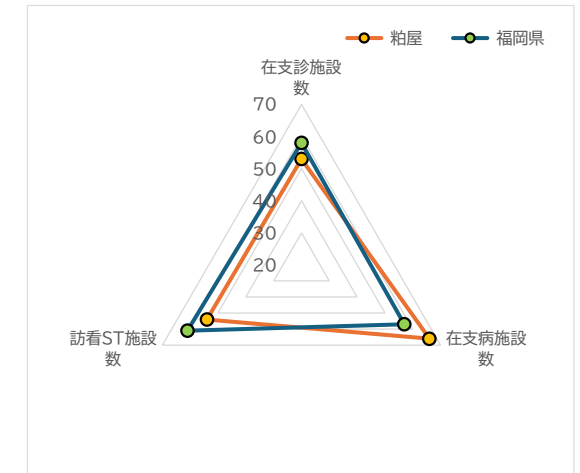
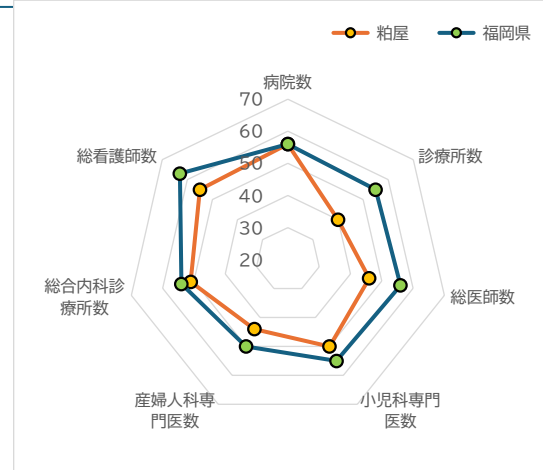
(うち、高齢者住宅定員:1,190、75歳以上1,000人当たり36(偏差値46)

介護職員数:2,038、75歳以上1,000人当たり62(偏差値42)

施設別定員数:老健施設555(偏差値45)、特養815(偏差値42)、介護医療院351(偏差値74)

(75歳以上1,000人当たり)有料13.6(偏差値50)、軽費1.2(偏差値50)、GH11.1(偏差値49)、サ高住10(偏差値43)

在宅ケア(施設数):在支診31(偏差値53)、在支病7(偏差値66)、訪看ST29(偏差値54)



12. 医療介護資源の状況 (厚生労働省「医療施設調査」)

●医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)(在宅療養支援診療所H26→R5推移)(訪問看護STはH29→R7推移)

医療施設数等	病院	一般診療所		訪問看護ステーション
		在宅療養支援診療所		
福岡県	461 → 453	4,654 → 4,806	866 → 767	493 → 1,086
福岡・糸島	123 → 123	1,611 → 1,779	244 → 246	151 → 373
粕屋	26 → 26	174 → 192	29 → 28	24 → 36
宗像	14 → 14	117 → 117	20 → 18	10 → 22
筑紫	27 → 27	293 → 313	45 → 39	35 → 73
飯塚	22 → 20	167 → 164	20 → 22	20 → 45
直方・鞍手	12 → 12	103 → 100	19 → 18	11 → 25

出所:病院、診療所数は厚生労働省「医療施設調査(動態)(平成28年10月1日現在)」、「医療施設調査(静態・動態)(令和5年10月1日現在)」

出所:在宅療養支援診療所数は厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(平成26年、令和5年10月1日現在)」

出所:訪問看護ステーション数は県医療指導課データ

※1 在宅療養支援診療所数は、平成26年4月、令和5年4月現在診療報酬施設基準による

※2 訪問看護ステーションは、平成29年4月1日現在、令和7年7月1日現在の介護保険法に基づく指定数

●小児科標榜医療機関数(H26→R2推移)

	医療機関数			小児人口10万人対 医療機関数
	病院	診療所		
福岡県	361 → 361	96 → 97	265 → 264	53.4 → 55.9
福岡・糸島	111 → 115	18 → 21	93 → 94	52.1 → 52.6
粕屋	18 → 19	5 → 5	13 → 14	38.3 → 40.0
宗像	12 → 11	2 → 2	10 → 9	55.9 → 45.3
筑紫	29 → 27	6 → 5	23 → 22	43.0 → 41.0
飯塚	14 → 16	5 → 6	9 → 10	62.3 → 73.7
直方・鞍手	10 → 11	3 → 3	7 → 8	74.3 → 86.4

出所:「医療施設調査」(平成26年、令和2年)

※診療所は、「小児科が主たる診療科」+「小児科単科」。

●市町別医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)

	病院数		一般診療所数	
	平成28年	令和5年	平成28年	令和5年
古賀市	5 →	5	38 →	42
宇美町	3 →	3	16 →	21
篠栗町	4 →	4	13 →	14
志免町	5 →	5	35 →	33
須恵町	2 →	2	11 →	17
新宮町	2 →	2	28 →	29
久山町	1 →	1	7 →	8
粕屋町	4 →	4	26 →	28
粕屋	26 →	26	174 →	192

●分娩取扱医療機関数(H26→R5推移)

医療施設数等	病院	診療所
福岡県	34 → 28	88 → 63
福岡・糸島	11 → 9	24 → 16
粕屋	1 → 1	5 → 5
宗像	1 → 0	4 → 3
筑紫	1 → 1	7 → 5
飯塚	2 → 2	2 → 2
直方・鞍手	0 → 0	1 → 1

出所:厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(各年10月1日現在)」(平成26年、令和5年)による

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)※令和2年10月

二次医療圏	総看護師数	人口 10万人当たり	病院 看護師数	人口 10万人当たり	診療所 看護師数	人口 10万人当たり
福岡・糸島	20,608	1,204	15,650	915	4,958	290
粕屋	3,095	1,057	2,496	852	599	204
宗像	1,595	972	1,200	731	395	241
筑紫	3,520	801	2,567	584	953	217
朝倉	862	1,054	652	797	210	257
久留米	6,953	1,535	5,552	1,226	1,401	309
八女・筑後	1,831	1,415	1,407	1,087	424	327
有明	3,687	1,742	2,927	1,383	760	359
飯塚	2,903	1,661	2,340	1,340	562	322
直方・鞍手	1,234	1,178	952	909	282	270
田川	1,784	1,512	1,377	1,167	407	345
北九州	16,061	1,500	12,881	1,203	3,179	297
京築	1,912	1,043	1,379	752	533	291
福岡県	66,044	1,286	51,381	1,001	14,663	286
全国	1,164,671	923	918,226	728	246,444	195

出典：厚生労働省「令和2年医療施設静態調査」

・総看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、粕屋区域は、県全体よりは少なく、全国よりは多い状況となっている

・勤務場所別で見ると、人口10万人当たり病院看護師は、県全体よりは少なく、全国よりは多い状況となっている

・人口10万人当たり診療所看護師は県全体よりは少なく、全国よりは多い状況である

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (施設)	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (訪問)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	2,649	14.4	1,415	7.7	1235	6.7
粕屋	557	16.8	445	13.4	112	3.4
宗像	227	9.5	162	6.8	65	2.7
筑紫	498	9.8	269	5.3	228	4.5
朝倉	151	10.8	114	8.2	37	2.6
久留米	796	11.9	416	6.2	380	5.7
八女・筑後	256	11.7	174	8.0	82	3.8
有明	469	11.5	360	8.9	109	2.7
飯塚	370	12.7	255	8.8	115	3.9
直方・鞍手	307	15.6	194	9.8	114	5.8
田川	394	17.4	220	9.7	175	7.7
北九州	1,883	10.5	1,179	6.6	704	3.9
京築	394	12.9	294	9.6	101	3.3
福岡県	8,952	12.5	5,497	7.7	3455	4.8
全国	188,635	10.1	119,762	6.4	68873	3.7

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事看護師数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、粕屋区域は、県全体、全国よりも多い状況となっている

・75歳以上1,000人当たり人数を勤務場所別で見ると、介護施設は13.4人と県全体、全国よりも多い状況となっている

・訪問看護は3.4人と県全体、全国より少ない状況となっている

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (介護施設等)	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (在宅)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	16,014	87.0	13,038	71.0	2976	16.2
粕屋	2,315	70.0	2,038	62.0	277	8.4
宗像	1,758	74.0	1,559	66.0	199	8.4
筑紫	3,653	72.0	3,131	62.0	523	10.3
朝倉	1282	92.0	1226	88.0	56	4.0
久留米	6,182	93.0	5,517	83.0	665	10.0
八女・筑後	2,199	101.0	1,964	90.0	235	10.8
有明	3,884	96.0	3,376	83.0	508	12.5
飯塚	2,833	97.0	2,361	81.0	472	16.2
直方・鞍手	2,005	102.0	1753	89.0	252	12.8
田川	3,189	141.0	2,600	115.0	588	26.0
北九州	15,195	84.0	12,896	72.0	2299	12.8
京築	2,565	84.0	2,252	73.0	313	10.2
福岡県	63,075	88.0	53,711	75.0	9364	13.1
全国	1,556,622	84.0	1,327,531	71.0	229090	12.3

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事介護職員数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、粕屋区域は、県全体、全国よりも少ない状況となっている

・75歳以上1,000人当たり人数を勤務場所別で見ると、介護施設等は62.0人と県全体、全国よりも少ない

在宅も8.4人と県全体、全国よりも少ない状況となっている

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

●就業場所別の看護師数

福岡県	看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	65,134	1,273.1		47,399	9,078	3,126	3,279	419	1,833
福岡・糸島	20,818	1,202.5	32.0%	15,150	2,901	999	1,048	134	586
粕屋	3,176	1,083.5	4.9%	2,311	443	152	160	20	89
宗像	1,740	1,050.4	2.7%	1,266	243	84	88	11	49
筑紫	3,795	859.9	5.8%	2,762	529	182	191	24	107
朝倉	871	1,079.4	1.3%	634	121	42	44	6	25
久留米	6,885	1,532.0	10.6%	5,010	960	330	347	44	194
八女・筑後	1,794	1,401.8	2.8%	1,306	250	86	90	12	50
有明	3,459	1,684.0	5.3%	2,517	482	166	174	22	97
飯塚	2,521	1,470.8	3.9%	1,835	351	121	127	16	71
直方・鞍手	1,066	1,037.8	1.6%	776	149	51	54	7	30
田川	1,378	1,207.3	2.1%	1,003	192	66	69	9	39
北九州	15,962	1,514.2	24.5%	11,616	2,225	766	804	103	449
京築	1,669	923.2	2.6%	1,215	233	80	84	11	47

・看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、粕屋区域は、県平均に比べて少ない状況となっている

・粕屋区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等、訪問看護ステーションとなっており、病院と診療所で87%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したもの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

●就業場所別の准看護師数

福岡県	准看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	13,995	273.6		5,542	5,445	357	2,211	288	152
福岡・糸島	2,893	167.1	20.7%	1,146	1,126	74	457	60	31
粕屋	662	225.8	4.7%	262	258	17	105	14	7
宗像	337	203.4	2.4%	133	131	9	53	7	4
筑紫	757	171.5	5.4%	300	295	19	120	16	8
朝倉	297	368.1	2.1%	118	116	8	47	6	3
久留米	1,451	322.9	10.4%	575	565	37	229	30	16
八女・筑後	542	423.5	3.9%	215	211	14	86	11	6
有明	1,198	583.2	8.6%	474	466	31	189	25	13
飯塚	786	458.6	5.6%	311	306	20	124	16	9
直方・鞍手	534	519.9	3.8%	211	208	14	84	11	6
田川	807	707.0	5.8%	320	314	21	127	17	9
北九州	3,014	285.9	21.5%	1,194	1,173	77	476	62	33
京築	717	396.6	5.1%	284	279	18	113	15	8

・准看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、粕屋区域は、県平均より少ない状況となっている

・粕屋区域について、就業場所別に見ると、病院、診療所が概ね同程度、次いで介護保険施設等となっており、病院と診療所で79%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したものの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

14. 在宅医療の状況

福岡県在宅療養支援診療所等調査(高齢者地域包括ケア推進課)

【調査対象】

九州厚生局に在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料の届出を行っている施設

【調査時期】

毎年5月～7月頃

【回収状況】

令和5年度回答率94.9%

令和7年度回答率97.0%

【項目の説明】

訪問診療:調査対象月1ヶ月間の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

小児:調査対象月1ヶ月間の19歳以下の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

在宅看取り:調査前年度1年間の在宅看取り(施設看取り含む)患者数(医療機関所在地ベース)の実数

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療機関数

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
福岡・糸島	401	17,824	210	2,456	423	21,874	333	2,790	22	4,050	123	334	101	193	20
粕屋	50	1,154	0	249	50	1,167	12	192	0	13	12	-57	12	26	4
宗像	32	1,421	27	272	32	1,531	46	228	0	110	19	-44	6	20	1
筑紫	69	2,719	7	408	73	3,675	16	623	4	956	9	215	23	32	5
朝倉	37	571	7	79	36	728	12	97	-1	157	5	18	13	22	2
久留米	160	3,627	48	924	158	4,311	81	923	-2	684	33	-1	31	89	8
八女・筑後	45	779	2	318	45	849	1	243	0	70	-1	-75	8	22	4
有明	73	1,595	1	322	72	1,661	5	280	-1	66	4	-42	17	41	2
飯塚	40	1,715	13	485	43	1,959	23	423	3	244	10	-62	10	22	4
直方・鞍手	35	1,355	0	190	34	1,308	1	249	-1	-47	1	59	6	18	2
田川	28	931	0	74	33	1,296	2	72	5	365	2	-2	6	16	2
北九州	323	9,453	20	1,888	329	12,153	122	2,110	6	2,700	102	222	61	165	25
京築	36	810	4	336	35	1,087	9	314	-1	277	5	-22	2	28	3
総数	1,329	43,954	339	8,001	1,363	53,599	663	8,544	34	9,645	324	543	296	694	82

・粕屋区域の令和5年度調査による在宅医療への今後の意向は、「現在より積極的に取り組みたい」が12件、「現状維持」が26件、「今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定」が4件という結果で、令和5年度から7年度の推移を見ると、医療機関数の増加は0件で、概ね現状維持となっている

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
福岡・糸島	849	531	89.1	620.1	7	(0.8%)	140	(16.5%)	203	(23.9%)	195	(23.0%)	175	(20.6%)	129	(15.2%)
粕屋	74	60	9.6	69.6	0	(0.0%)	3	(4.1%)	10	(13.5%)	30	(40.5%)	24	(32.4%)	7	(9.5%)
宗像	68	40	6.4	46.4	1	(1.5%)	5	(7.4%)	16	(23.5%)	26	(38.2%)	16	(23.5%)	4	(5.9%)
筑紫	178	100	18.5	118.5	5	(2.8%)	24	(13.5%)	52	(29.2%)	44	(24.7%)	33	(18.5%)	20	(11.2%)
朝倉	80	50	5.6	55.6	2	(2.5%)	13	(16.3%)	22	(27.5%)	11	(13.8%)	16	(20.0%)	16	(20.0%)
久留米	234	188	15.6	203.6	1	(0.4%)	19	(8.1%)	58	(24.8%)	55	(23.5%)	56	(23.9%)	45	(19.2%)
八女・筑後	81	63	13.0	76.0	1	(1.2%)	9	(11.1%)	18	(22.2%)	16	(19.8%)	24	(29.6%)	13	(16.0%)
有明	124	95	9.1	104.1	1	(0.8%)	10	(8.1%)	23	(18.5%)	19	(15.3%)	34	(27.4%)	37	(29.8%)
飯塚	101	56	10.0	66.0	1	(1.0%)	37	(36.6%)	18	(17.8%)	11	(10.9%)	17	(16.8%)	17	(16.8%)
直方・鞍手	46	37	2.7	39.7	0	(0.0%)	7	(15.2%)	9	(19.6%)	9	(19.6%)	12	(26.1%)	9	(19.6%)
田川	50	36	7.6	43.6	0	(0.0%)	4	(8.0%)	7	(14.0%)	16	(32.0%)	11	(22.0%)	12	(24.0%)
北九州	551	362	50.7	412.7	8	(1.5%)	78	(14.2%)	103	(18.7%)	127	(23.0%)	131	(23.8%)	104	(18.9%)
京築	81	48	6.7	54.7	0	(0.0%)	16	(19.8%)	18	(22.2%)	13	(16.0%)	17	(21.0%)	17	(21.0%)
総数	2,517	1,666	244.6	1,910.6	27	(1.1%)	365	(14.5%)	557	(22.1%)	572	(22.7%)	566	(22.5%)	430	(17.1%)

- ・在宅医療を行う医師の年齢別割合を見ると、粕屋区域では、「50~59歳」が40.5%で最も高く、他の区域と比べて最も高くなっている
次いで「60~69歳」が32.4%となっており、50歳以上の年代層の割合が82.4%と8割を超えている
- ・今後、老年人口が増え、在宅医療への需要が高まることが見込まれるが、現在の年齢構成がこのまま維持されると、将来的な医師の確保が課題となってくると思料

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療機関数(市町別)

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
古賀市	12	196	0	47	10	179	0	24	-2	-17	0	-23	2	6	0
宇美町	2	14	0	1	2	9	0	0	0	-5	0	-1	1	0	1
篠栗町	2	49	0	1	2	44	0	3	0	-5	0	2	1	1	0
志免町	12	349	0	134	13	384	0	119	1	35	0	-15	3	7	1
須恵町	6	278	0	35	6	252	0	20	0	-26	0	-15	2	3	0
新宮町	5	166	0	12	6	190	12	17	1	24	12	5	0	4	0
久山町	2	22	0	3	2	28	0	2	0	6	0	-1	1	1	0
粕屋町	9	80	0	16	9	81	0	7	0	1	0	-9	2	4	2
粕屋	50	1,154	0	249	50	1,167	12	192	0	13	12	-57	12	26	4

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)(市町別)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+非常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
古賀市	11	7	0.9	7.9	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(18.2%)	2	(18.2%)	5	(45.5%)	2	(18.2%)
宇美町	2	2	0.0	2.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	2	(100.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
篠栗町	2	2	0.0	2.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)
志免町	19	17	0.6	17.6	0	(0.0%)	1	(5.3%)	0	(0.0%)	7	(36.8%)	9	(47.4%)	2	(10.5%)
須恵町	17	16	0.1	16.1	0	(0.0%)	1	(5.9%)	2	(11.8%)	11	(64.7%)	3	(17.6%)	0	(0.0%)
新宮町	10	6	7.2	13.2	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(30.0%)	4	(40.0%)	3	(30.0%)	0	(0.0%)
久山町	2	2	0.0	2.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(50.0%)	1	(50.0%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
粕屋町	11	8	0.8	8.8	0	(0.0%)	1	(9.1%)	2	(18.2%)	2	(18.2%)	3	(27.3%)	3	(27.3%)
粕屋	74	60	9.6	69.6	0	(0.0%)	3	(4.1%)	10	(13.5%)	30	(40.5%)	24	(32.4%)	7	(9.5%)

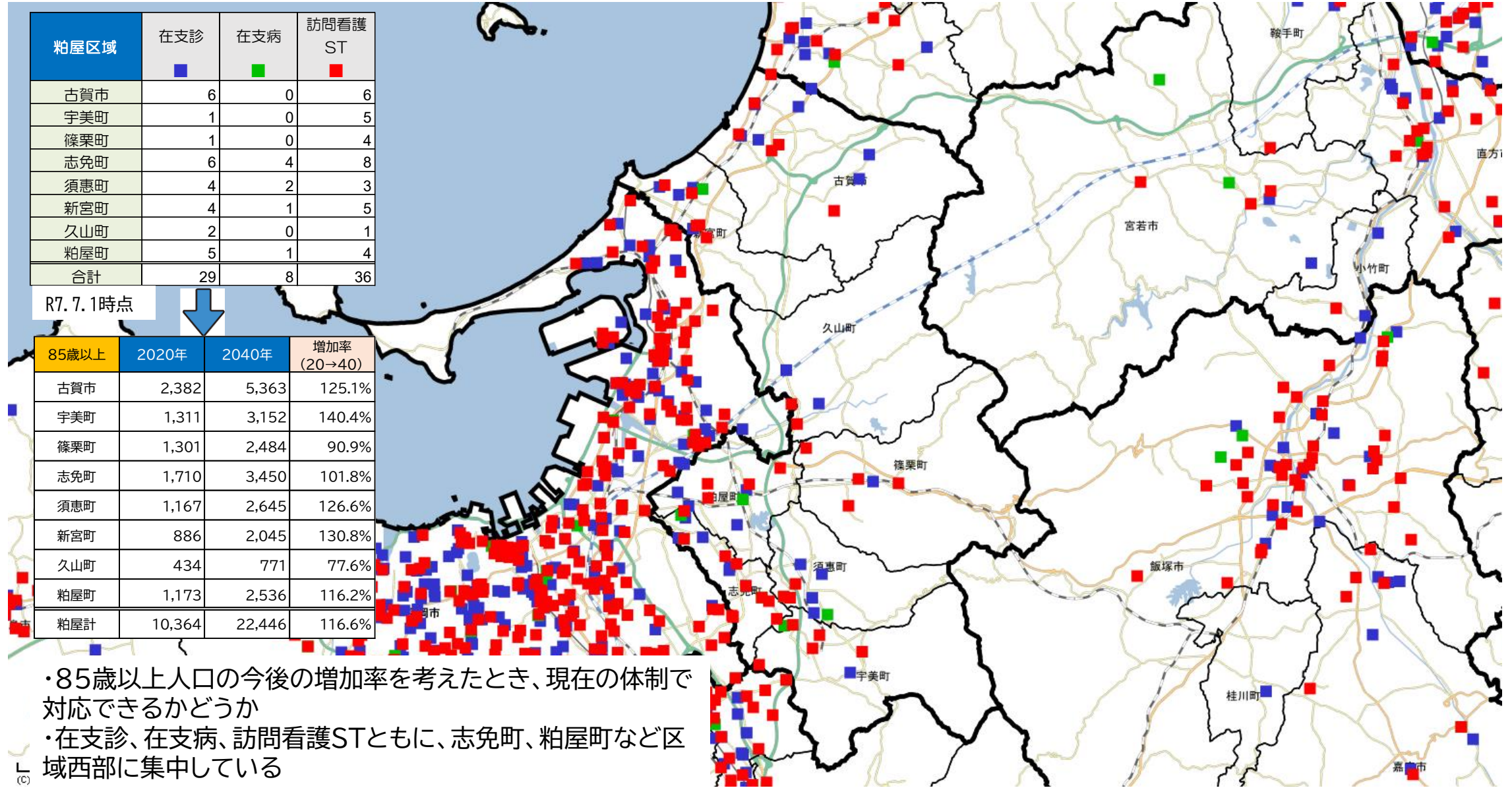
14. 在宅医療の状況 (在支診、在支病、訪問看護STの位置)

粕屋区域	在支診	在支病	訪問看護ST
古賀市	6	0	6
宇美町	1	0	5
篠栗町	1	0	4
志免町	6	4	8
須恵町	4	2	3
新宮町	4	1	5
久山町	2	0	1
粕屋町	5	1	4
合計	29	8	36

R7. 7. 1時点

85歳以上	2020年	2040年	増加率 (20→40)
古賀市	2,382	5,363	125.1%
宇美町	1,311	3,152	140.4%
篠栗町	1,301	2,484	90.9%
志免町	1,710	3,450	101.8%
須恵町	1,167	2,645	126.6%
新宮町	886	2,045	130.8%
久山町	434	771	77.6%
粕屋町	1,173	2,536	116.2%
粕屋計	10,364	22,446	116.6%

- ・85歳以上人口の今後の増加率を考えたとき、現在の体制で対応できるかどうか
- ・在支診、在支病、訪問看護STともに、志免町、粕屋町など区域西部に集中している



15. 看護職員の状況

看護職員確保に係る実態調査(医療指導課医師・看護職員確保対策室)

【調査対象】

(1)施設調査:6,451施設

病院(451)、診療所(4,205)、訪問看護ステーション(984)、介護老人保健施設(173)、介護老人福祉施設(439)、介護医療院(55)、障がい児者施設(施設入所・療養介護)(144)、その他(無回答含む)(48)

(2)看護職員調査:10,208人

上記施設に勤務する看護職員

【調査方法】

対象施設に郵送により依頼し、ふくおか電子申請サービスにて回答

【調査時期】

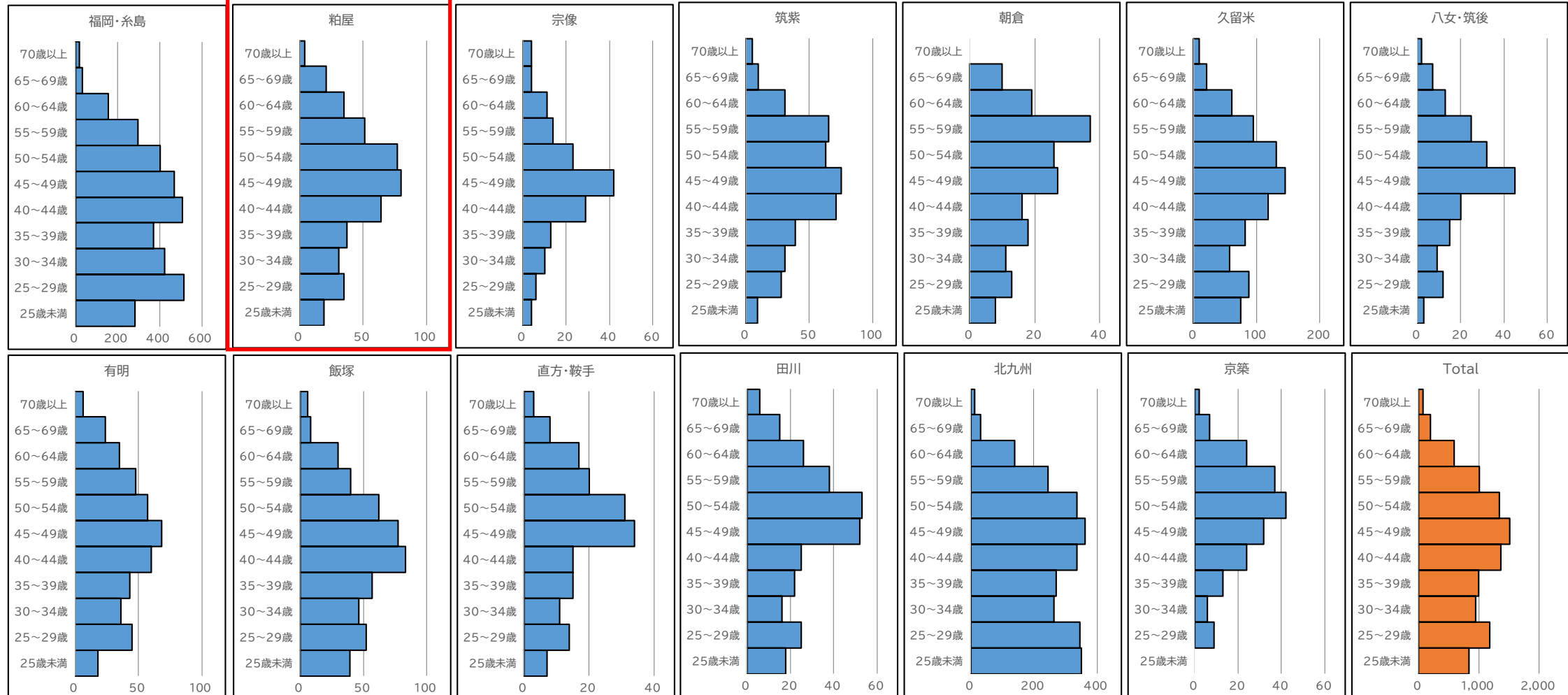
令和6年11月18日(月)～12月13日(金)

【回収状況】

施設2,201件(回収率34.1%)／看護職員回収10,208人

15. 看護職員の状況 (医療指導課医師・看護職員確保対策室「看護職員確保に係る実態調査」)

●二次医療圏・年齢階級別看護師数



- ・粕屋区域の年齢構成ピラミッドを見ると、40代後半から50代前半の層がボリュームゾーンとなっている
- ・看護師確保の困難さが言及されているなか、このままの年齢構成で10~20年後を考えた際、医療提供体制を維持できるか

16. 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表 (厚生労働省「患者調査-二次医療圏編」)

二次医療圏	人口				推計流入患者割合			推計流出患者割合		
	H28.8.1時点	R5.8.1時点	差	(増減割合)	H26調査	R5調査	差	H26調査	R5調査	差
福岡・糸島	1,648,241	1,740,857	92,616	(5.32%)	19.1	21.8	2.7	13.2	12.4	▲ 0.8
粕屋	285,000	292,622	7,622	(2.60%)	44.9	42.1	▲ 2.8	39.1	41.1	2.0
宗像	156,744	165,602	8,858	(5.35%)	35.3	33.5	▲ 1.8	34.7	40.9	6.2
筑紫	434,568	440,919	6,351	(1.44%)	33.5	30.6	▲ 2.9	37.2	40.6	3.4
朝倉	83,209	80,348	▲ 2,861	(▲3.56%)	21.3	22.5	1.2	42.1	30.0	▲ 12.1
久留米	455,840	447,316	▲ 8,524	(▲1.91%)	34.5	31.8	▲ 2.7	23.9	22.8	▲ 1.1
八女・筑後	132,283	127,106	▲ 5,177	(▲4.07%)	25.0	27.3	2.3	29.4	34.9	5.5
有明	220,974	202,644	▲ 18,330	(▲9.05%)	20.0	18.4	▲ 1.6	21.8	18.9	▲ 2.9
飯塚	180,023	170,014	▲ 10,009	(▲5.89%)	21.9	23.5	1.6	26.8	25.9	▲ 0.9
直方・鞍手	108,047	101,892	▲ 6,155	(▲6.04%)	25.0	25.8	0.8	36.5	40.4	3.9
田川	124,830	112,634	▲ 12,196	(▲10.83%)	21.1	27.3	6.2	22.4	28.4	6.0
北九州	1,091,345	1,046,238	▲ 45,107	(▲4.31%)	8.2	9.0	0.8	7.7	7.3	▲ 0.4
京築	184,053	179,800	▲ 4,253	(▲2.37%)	20.3	20.2	▲ 0.1	33.2	28.4	▲ 4.8
福岡県	5,105,157	5,107,992	2,835	(0.06%)	21.5	22.0	0.5	20.4	20.5	0.1

粕屋区域は、H28年からR5年の7年間で人口が7,622人(2.6%)増加している
 粕屋区域は、他区域からの流出率が高い区域であるが、この7年間で推計流入患者割合は2.8ポイント減少、推計流出患者割合は2.0ポイント増加しており、流出率の割合の差は小さくなっている状況が見られる

※ 人口:福岡県人口移動調査「福岡県の人口と世帯(推計)」(平成28年8月1日現在、令和5年8月1日現在)

※ 推計流入患者割合、推計流出患者割合:厚生労働省「患者調査」(平成26年10月、令和5年10月)

病院の推計入院患者数の圏内への流入患者割合・圏外への流出患者割合、二次医療圏内・二次医療圏外が不詳の者を推計患者数から除いて算出

17. 二次救急及び急患センターの位置(隣接区域含む)

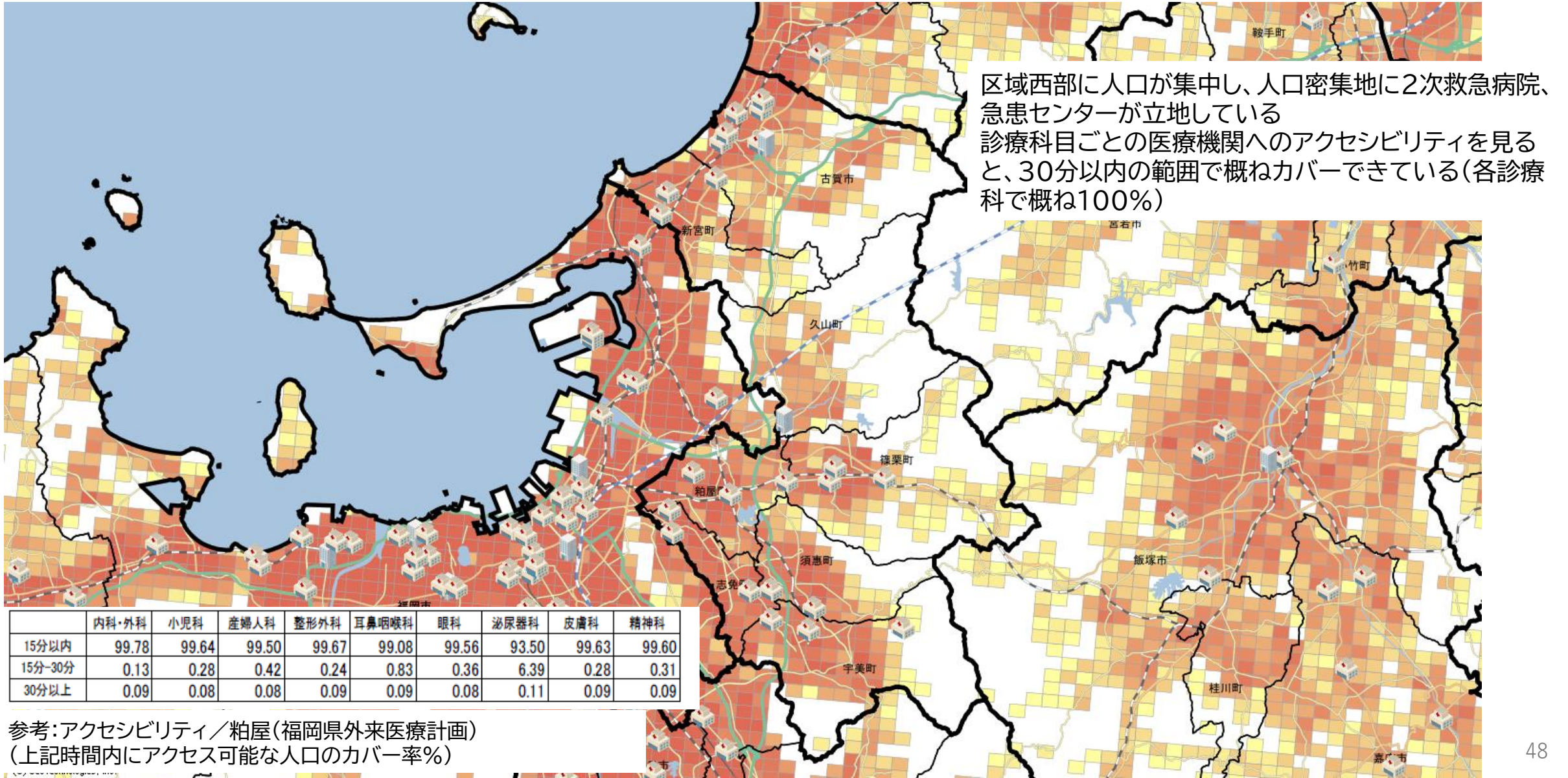


・粕屋医療圏は、福岡・糸島医療圏、筑紫医療圏、宗像医療圏、飯塚医療圏と接している

・医療の状況を見ると、粕屋医療圏内には、23の二次救急があり、急患センターは2か所(粕屋北部、粕屋中南部休日診療所)が設置されている

・隣接する医療圏には複数の二次救急、急患センターがある

18. 人口メッシュ(500m) (2020年(令和2年)「国勢調査」)



	内科・外科	小児科	産婦人科	整形外科	耳鼻咽喉科	眼科	泌尿器科	皮膚科	精神科
15分以内	99.78	99.64	99.50	99.67	99.08	99.56	93.50	99.63	99.60
15分-30分	0.13	0.28	0.42	0.24	0.83	0.36	6.39	0.28	0.31
30分以上	0.09	0.08	0.08	0.09	0.09	0.08	0.11	0.09	0.09

参考:アクセシビリティ/粕屋(福岡県外来医療計画)
(上記時間内にアクセス可能な人口のカバー率%)

19. 救急搬送の状況① (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	年齢区分					居住地		
		新生児(人、割合)	乳幼児(人、割合)	少年(人、割合)	成年(人、割合)	高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	その他(人、割合)
粕屋南部消防本部	8,854	18 (0.2%)	574 (6.5%)	377 (4.3%)	2,724 (30.8%)	5,161 (58.3%)	8,078 (91.2%)	765 (8.6%)	11 (0.1%)
粕屋北部消防本部	3,951	11 (0.3%)	224 (5.7%)	174 (4.4%)	1,103 (27.9%)	2,439 (61.7%)	3,418 (86.5%)	521 (13.2%)	12 (0.3%)
粕屋区域計	12,805	29 (0.2%)	798 (6.2%)	551 (4.3%)	3,827 (29.9%)	7,600 (59.4%)	11,496 (89.8%)	1,286 (10.0%)	23 (0.2%)
福岡県	254,728	687 (0.3%)	10,824 (4.2%)	8,654 (3.4%)	75,536 (29.7%)	159,027 (62.4%)	235,856 (92.6%)	17,854 (7.0%)	1,018 (0.4%)

	初診医診断						軽傷に占める
	死亡(人、割合)	重篤(人、割合)	重症(人、割合)	中等症(人、割合)	軽症(人、割合)	その他(人、割合)	高齢者数(人、割合)
粕屋南部消防本部	0 (0.0%)	0 (0.0%)	432 (4.9%)	4,336 (49.0%)	4,086 (46.1%)	0 (0.0%)	1,902 (46.5%)
粕屋北部消防本部	1 (0.0%)	2 (0.1%)	187 (4.7%)	2,052 (51.9%)	1,709 (43.3%)	0 (0.0%)	840 (49.2%)
粕屋区域計	1 (0.0%)	2 (0.0%)	619 (4.8%)	6,388 (49.9%)	5,795 (45.3%)	0 (0.0%)	2,742 (47.3%)
福岡県	1,573 (0.6%)	8 (0.0%)	13,146 (5.2%)	138,915 (54.5%)	100,911 (39.6%)	175 (0.1%)	48,147 (47.7%)

- ・搬送人員を年齢区分別に見ると、粕屋区域、県ともに高齢者の割合が高い
→ 粕屋59.4%、県62.4%
- ・症状別では、粕屋区域は、県に比べて中等症より軽症の割合が高い
→ 「軽症」粕屋45.3%、県39.6%
- ・「軽傷に占める高齢者の割合」は、粕屋区域、県で大きな差はない
→ 粕屋47.3%、県47.7%

19. 救急搬送の状況② (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	うち 高齢者 (人)	高齢者の発生場所							
			住宅 (人、割合)	公衆出入の場所(人、割合)			仕事場 (人、割合)	道路 (人、割合)	その他 (人、割合)	
				うち病院・病床数 20以上の医療機関 (人、割合)	うち病床数19以下 の診療所、医院 (人、割合)	うち老人ホーム、老 人保健施設等の老 人の収容施設 (人、割合)				
粕屋南部消防本部	8,854	5,161	3,438 (66.6%)	1,349 (26.1%)	538 (10.4%)	125 (2.4%)	496 (9.6%)	59 (1.1%)	292 (5.7%)	23 (0.4%)
粕屋北部消防本部	3,951	2,439	1,554 (63.7%)	719 (29.5%)	132 (5.4%)	67 (2.7%)	388 (15.9%)	31 (1.3%)	122 (5.0%)	13 (0.5%)
粕屋区域計	12,805	7,600	4,992 (65.7%)	2,068 (27.2%)	670 (8.8%)	192 (2.5%)	884 (11.6%)	90 (1.2%)	414 (5.4%)	36 (0.5%)
福岡県	254,728	159,027	98,559 (62.0%)	48,121 (30.3%)	11,316 (7.1%)	4,613 (2.9%)	25,245 (15.9%)	1,237 (0.8%)	10,086 (6.3%)	1,024 (0.6%)

- ・高齢者の救急搬送件数を救急要請の発生場所別に見ると、県全体、粕屋区域ともに、「住宅」が最も割合が高い
→粕屋65.7%、県62.0%
- ・次が「老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設」である

19. 救急搬送の状況③ (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	収容平均所要時間 (分)	搬送決定までの連絡回数				搬送先		
			1回(人、割合)	2回(人、割合)	3回(人、割合)	4回以上(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	
粕屋南部消防本部	8,854	42.01	6,359 (71.8%)	1,310 (14.8%)	511 (5.8%)	674 (7.6%)			443 (65.7%)
粕屋北部消防本部	3,951	32.92	3,350 (84.8%)	378 (9.6%)	130 (3.3%)	93 (2.4%)	58 (62.4%)	1,876 (47.5%)	2,075 (52.5%)
粕屋区域計	12,805	39.20	9,709 (75.8%)	1,688 (13.2%)	641 (5.0%)	767 (6.0%)	501 (65.3%)	5,745 (44.9%)	7,060 (55.1%)
福岡県	246,430	37.91	196,547 (79.8%)	31,515 (12.8%)	12,679 (5.1%)	13,987 (5.7%)	9,051 (64.7%)	201,365 (81.7%)	53,363 (21.7%)

【粕屋区域各消防本部の主な搬送先】

(粕屋南部消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち軽症(%)			うち中等症(%)			うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 福岡青洲会病院	粕屋町	2,530	28.6%	56.2%	39.1%	4.7%						
2位 福岡徳洲会病院	春日市	1,014	11.5%	54.9%	40.2%	4.8%						
3位 福岡市民病院	福岡市	816	9.2%	40.3%	53.3%	6.4%						
4位 篠栗病院	篠栗町	619	7.0%	45.1%	50.7%	4.2%						
5位 千鳥橋病院	福岡市	512	5.8%	47.1%	50.8%	2.1%						
1位～5位の合計		5,491	62.0%	51.5%	43.8%	4.7%						
総計		8,854	100.0%	46.1%	49.0%	4.9%						

(粕屋北部消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち軽症(%)			うち中等症(%)			うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)	うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 福岡東医療センター救命センター	古賀市	1,847	46.7%	39.7%	54.5%	5.7%						
2位 福岡和白病院	福岡市	1,250	31.6%	51.5%	44.3%	4.1%						
3位 宗像水光会総合病院	福津市	322	8.1%	42.5%	55.0%	2.5%						
4位 福岡市立こども病院	福岡市	102	2.6%	51.0%	46.1%	2.9%						
5位 九州大学病院救命センター	福岡市	59	1.5%	27.1%	62.7%	10.2%						
1位～5位の合計		3,580	90.6%	44.2%	50.9%	4.8%						
総計		3,951	100.0%	43.3%	51.9%	4.7%						

・収容平均所要時間は、県全体が37.9分で、粕屋南部消防本部42.0分、粕屋北部消防本部が32.9分である

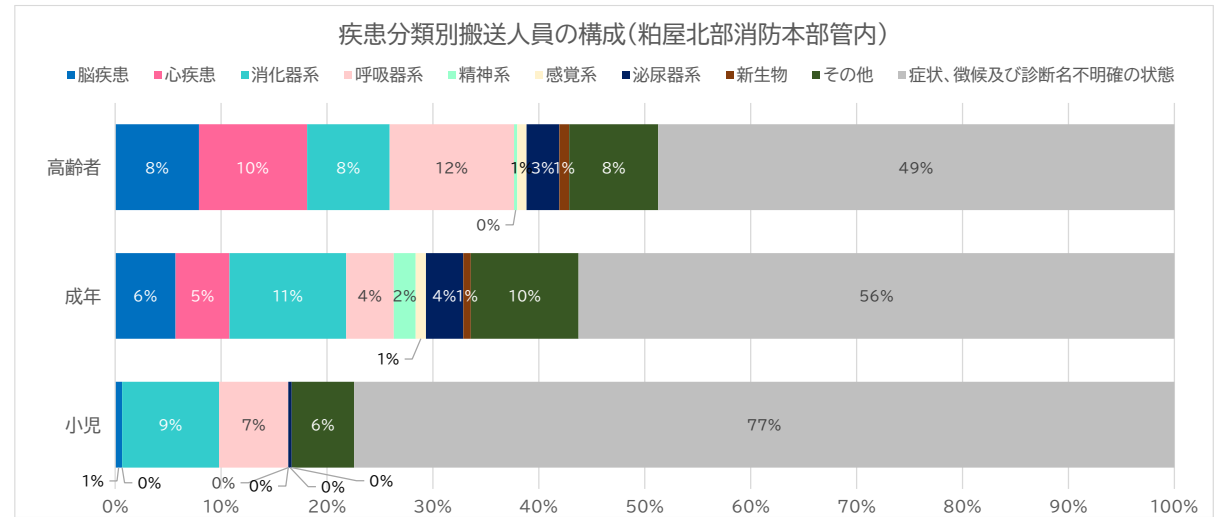
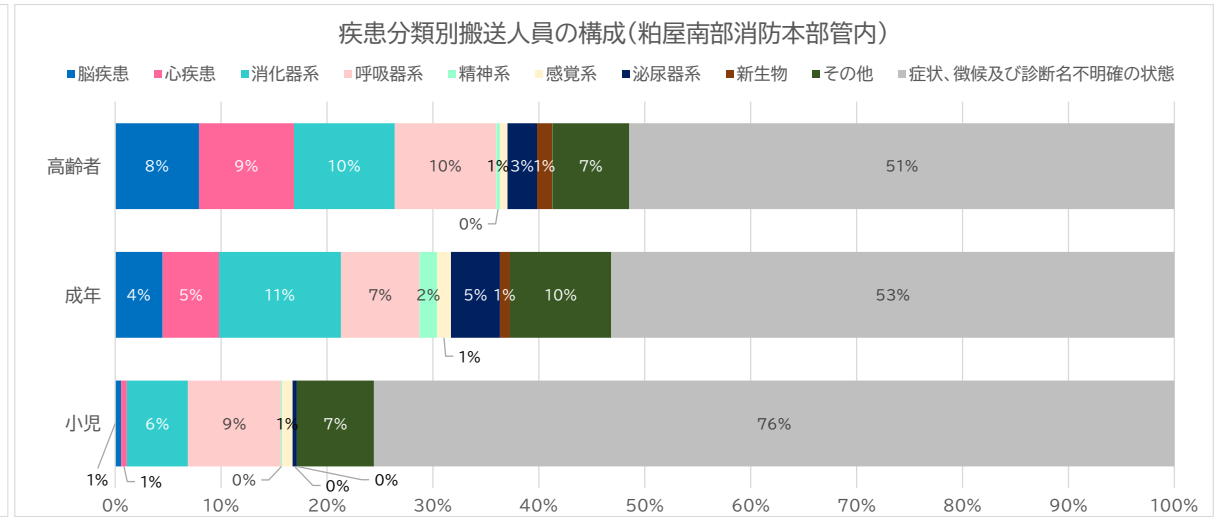
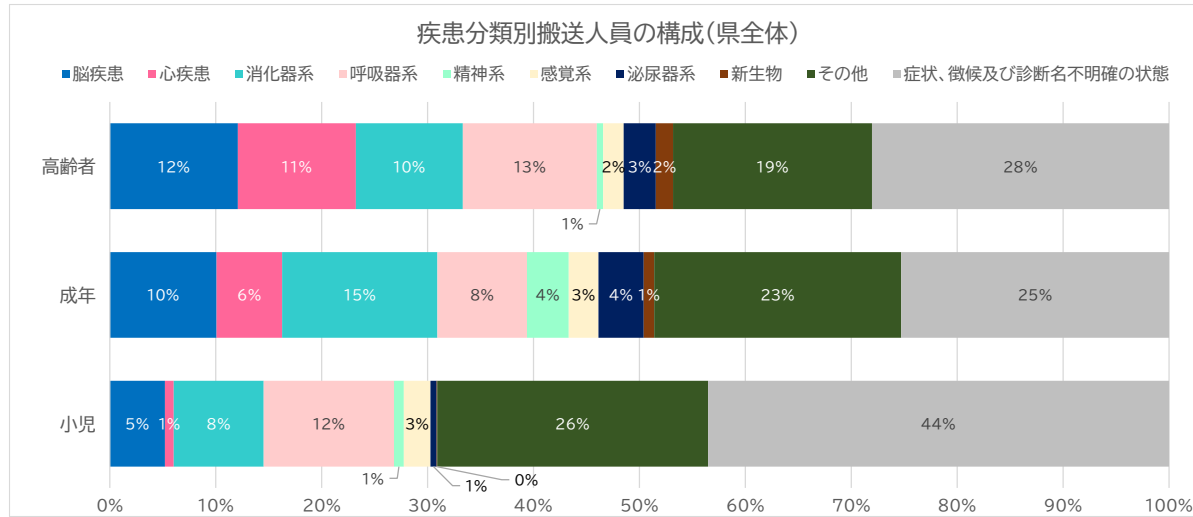
※収容平均所要時間とは、救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間

・搬送決定までの連絡回数は、1回が県79.8%、粕屋区域が75.8%で、1回までに決まる割合は、粕屋北部消防本部で84.8%と高くなっている
4回以上かかる人数のうち高齢者の割合は、県と概ね同率である

・粕屋区域消防本部の主な搬送先を見ると、粕屋南部消防本部は、域内の「福岡青洲会病院」が28.6%、域外の「福岡徳洲会病院」「福岡市民病院」に20.7%が搬送されている 粕屋北部消防本部は、域外に4割以上が搬送されている

19. 救急搬送の状況④ (令和5年「福岡県消防年報」)

● 疾患分類別搬送人員の構成



19. 救急搬送の状況⑤ (令和5年「福岡県消防年報」)

● 小児(新生児、乳幼児、少年の計)に係る粕屋区域内の各消防本部の搬送状況

*搬送人員が10人以上の医療機関のうち、上位3位を集計

粕屋南部消防本部

救急患者:969人(うち 搬送先 管内177人(18.3%)、管外792人(81.7%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 福岡青洲会病院	116人	65.5%
2位 片井整形外科・内科病院	16人	9.0%
-	-	-
管内総計	177人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 福岡徳洲会病院	春日市	277人	35.0%
2位 福岡市立こども病院	福岡市	255人	32.2%
3位 福岡市立急患診療センター	福岡市	117人	14.8%
管外総計		792人	100.0%

【参考】粕屋南部消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	760人 (78.4%)
2回	137人 (14.1%)
3回	41人 (4.2%)
4回以上	31人 (3.2%)

収容平均所要時間 40.44分

粕屋北部消防本部

救急患者:409人(うち 搬送先 管内194人(47.4%)、管外215人(52.6%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 国立福岡東医療センター	192人	99.0%
-	-	-
-	-	-
管内総計	194人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 福岡市立こども病院	福岡市	91人	42.3%
2位 福岡和白病院	福岡市	48人	22.3%
3位 宗像急患センター	宗像市	31人	14.4%
管外総計		215人	100.0%

【参考】粕屋北部消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	343人 (83.9%)
2回	47人 (11.5%)
3回	13人 (3.2%)
4回以上	6人 (1.5%)

収容平均所要時間 34.08分

● 小児に係る粕屋区域内の医療機関への搬送患者の状況

病院名	搬送患者数	搬送先								
		1位	2位	3位	4位	5位	6位			
1位 国立福岡東医療センター	528人	宗像地区消防本部	52.1%	粕屋北部消防本部	36.6%	福岡市消防局	6.3%	-	-	-
2位 福岡青洲会病院	137人	粕屋南部消防本部	84.7%	福岡市消防局	14.6%	飯塚地区消防本部	0.7%	-	-	-
3位 片井整形外科・内科病院	16人	粕屋南部消防本部	100.0%	-	-	-	-	-	-	-

【参考】福岡県平均

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	16,559人 (82.1%)
2回	2,254人 (11.2%)
3回	765人 (3.8%)
4回以上	587人 (2.9%)

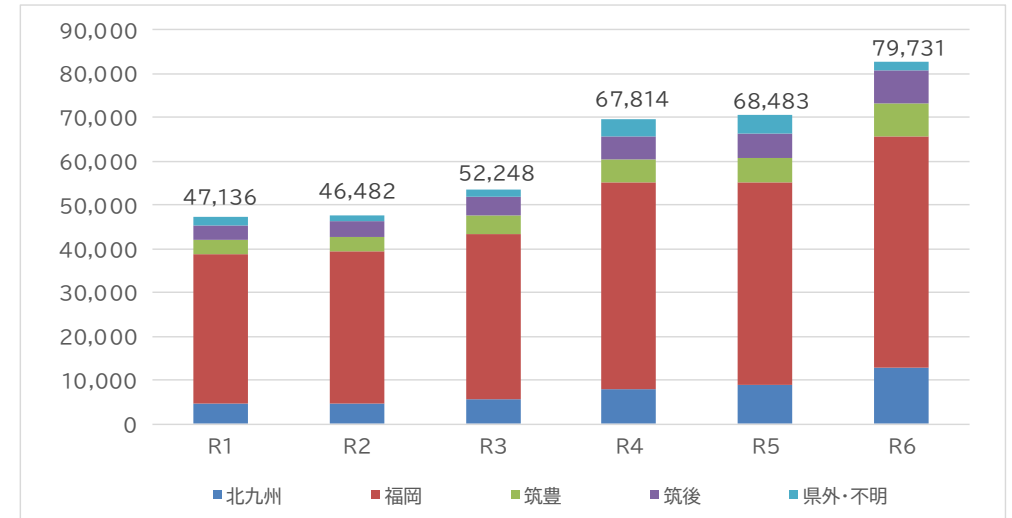
収容平均所要時間 37.55分

20. 救急医療電話相談利用件数

●福岡県救急電話相談事業（#7119）市別利用件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	4,716	4,473	5,728	7,984	8,731	12,650	168.2%
福岡	33,951	35,026	37,704	47,051	46,369	53,038	56.2%
筑豊	3,341	2,292	2,739	3,688	3,588	4,413	32.1%
筑後	3,354	3,315	4,134	5,334	5,670	7,526	124.4%
県外・不明	1,774	1,376	1,943	3,757	4,125	2,104	18.6%
福岡県計	47,136	46,482	52,248	67,814	68,483	79,731	69.2%

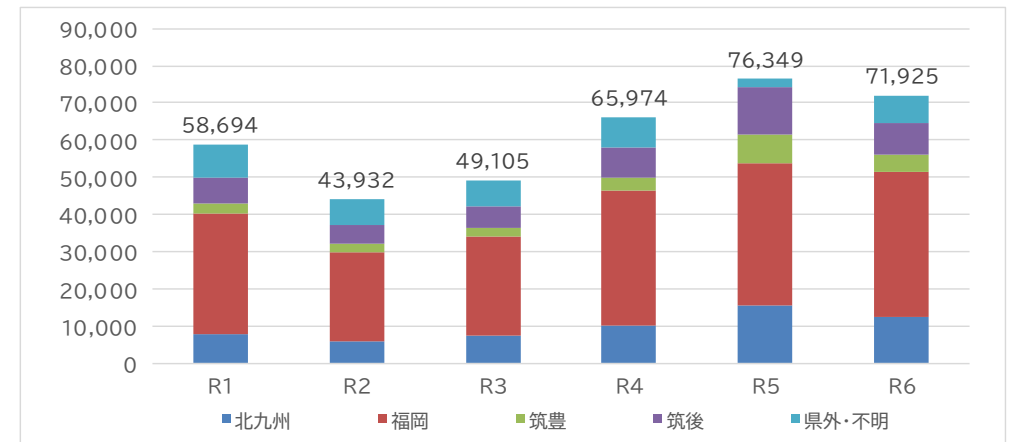
福岡県のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から1万1,248件増加し、過去最多の7万9,731件となった
 福岡地域のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から6,669件増加し、過去最多の5万3,038件となった



●福岡県小児救急医療電話相談（#8000）件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	7,615	5,869	7,334	10,265	15,449	12,596	65.4%
福岡	32,539	24,063	26,695	36,142	38,283	38,759	19.1%
筑豊	2,843	2,230	2,472	3,546	7,872	4,544	59.8%
筑後	6,919	4,795	5,651	8,177	12,649	8,656	25.1%
県外・不明	8,778	6,975	6,953	7,844	2,096	7,370	-16.0%
福岡県計	58,694	43,932	49,105	65,974	76,349	71,925	22.5%

福岡県の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の7万6,349件である
 福岡地域の「#8000」の相談件数はR2年度から一貫して増加傾向にあり、R6年度は過去最多の3万8,759件となった



* 地域別の件数は相談者居住地による相談件数

21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術あり) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査(R5.4月～R6.3月)」)

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 福岡青洲会病院 (56.0%)、(独) 国立病院機構 福岡東医療センター (44.0%)
眼科系 (02)	: —
耳鼻科系 (03)	: —
呼吸器系 (04)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (72.9%)、福岡青洲会病院 (27.1%)
循環器系 (05)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (75.9%)、福岡青洲会病院 (24.1%)
消化器系 (06)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (62.5%)、福岡青洲会病院 (17.8%)、(一社) 福岡県社会保険医療協会 社会保険仲原病院 (8.7%)
筋骨格系 (07)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (47.3%)、福岡青洲会病院 (34.9%)、(医) 日晴会久恒病院 (10.6%)
皮膚系 (08)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (100%)
乳房系 (09)	: 福岡青洲会病院 (67.6%)、(独) 国立病院機構 福岡東医療センター (32.4%)
内分泌系 (10)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (55.2%)、福岡青洲会病院 (44.8%)
腎尿路系 (11)	: (医) 豊資会 加野病院 (78.1%)、(独) 国立病院機構 福岡東医療センター (11.1%)、福岡青洲会病院 (10.8%)
女性系 (12)	: 産科・婦人科愛和病院 (55.1%)、(独) 国立病院機構 福岡東医療センター (44.9%)
血液系 (13)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (76.5%)、福岡青洲会病院 (23.5%)
新生児系 (14)	: —
小児系 (15)	: —
外傷系 (16)	: 福岡青洲会病院 (40.2%)、(独) 国立病院機構 福岡東医療センター (37.1%)、(医) 日晴会久恒病院 (11.6%)
精神系 (17)	: —
その他 (18)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (59.1%)、(一社) 福岡県社会保険医療協会 社会保険仲原病院 (24.7%)、福岡青洲会病院 (16.1%)

21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術なし) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査(R5.4月～R6.3月)」)

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (57.2%)、福岡青洲会病院 (41.5%)
眼科系 (02)	: (一社) 福岡県社会保険医療協会 社会保険仲原病院 (100.0%)
耳鼻科系 (03)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (45.9%)、福岡青洲会病院 (30.6%)、(医) 豊資会 加野病院 (10.7%)
呼吸器系 (04)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (70.3%)、福岡青洲会病院 (23.2%)
循環器系 (05)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (53.0%)、福岡青洲会病院 (36.3%)、(医) 井上会 篠栗病院 (7.8%)
消化器系 (06)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (63.3%)、福岡青洲会病院 (16.7%)、(医) 井上会 篠栗病院 (8.2%)
筋骨格系 (07)	: (医) 日晴会久恒病院 (43.0%)、(独) 国立病院機構 福岡東医療センター (35.4%)、福岡青洲会病院 (15.2%)
皮膚系 (08)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (87.6%)、福岡青洲会病院 (8.4%)
乳房系 (09)	: 福岡青洲会病院 (100.0%)
内分泌系 (10)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (52.4%)、福岡青洲会病院 (27.3%)、(一社) 福岡県社会保険医療協会 社会保険仲原病院 (12.0%)
腎尿路系 (11)	: (医) 豊資会 加野病院 (45.9%)、(独) 国立病院機構 福岡東医療センター (22.6%)、福岡青洲会病院 (21.6%)
女性系 (12)	: 産科・婦人科愛和病院 (100.0%)
血液系 (13)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (87.3%)、福岡青洲会病院 (5.4%)、(一社) 福岡県社会保険医療協会 社会保険仲原病院 (5.2%)
新生児系 (14)	: 産科・婦人科愛和病院 (100.0%)
小児系 (15)	: (独) 福岡東医療センター (100.0%)
外傷系 (16)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (38.3%)、福岡青洲会病院 (26.9%)、(医) 日晴会久恒病院 (19.9%)
精神系 (17)	: 福岡青洲会病院 (100.0%)
その他 (18)	: (独) 国立病院機構 福岡東医療センター (66.9%)、福岡青洲会病院 (33.1%)